

平成24年度

東海村教育の概要



東海村教育委員会

「のびのびと正しく、^{ひとみ}瞳かがやく青少年を育てるまち」

宣言の村

未来を担う青少年が心身ともに健やかでのびのびと成長して欲しいと願うのは、村民すべての思いであり責務である。

しかしながら、近年の青少年を取り巻く環境は、こうした願いにもかかわらず、未来への夢や希望そして生きていくうえでの明確な目標を見失わせつつあり、自己破滅的・反社会的な行動を誘発するなど憂慮すべき傾向がみられる。

人間は、一人では生きていけない存在であり、社会の中で様々な人々と互いに協力しあい大切にしながらこそ、真に心豊かな「人間」となれることを忘れてはならない。

青少年自らが豊かな人間性を養い、未来への夢や目標を抱き、世界の中で信頼される人間となるため、村民一人ひとりが、新しい時代の東海村を担い、支える青少年を応援し、関係機関・団体と力を合わせ、「独立自尊」の気概に満ちたチャレンジ精神の育つまちづくりを強力に推進することは大きな使命である。

よって、ここに「のびのびと正しく、^{ひとみ}瞳かがやく青少年を育てるまち」とすることを宣言する。

平成12年6月20日

東海村

東海村民憲章

わたくしたちは

ゆかしい歴史と原子の火に生きる

東海の村民です

- 1 自然に親しみ きれいなまちをつくりましょう
- 1 教養を深め 文化のまちをつくりましょう
- 1 心身をきたえ 明るいまちをつくりましょう
- 1 仕事に励み 豊かなまちをつくりましょう
- 1 心を合わせ 住みよいまちをつくりましょう

～東海村発足30周年を記念して制定～

村の木「黒松」

発足25周年を記念して、「黒松」を村の木に制定した。黒松は、村の気候や風土に適し、海岸線をはじめ村内いたる所に見られる。古来から長寿を表すとして尊ばれ、また、豊かな緑に包まれた村の快適環境を象徴するにふさわしい木ということで定めた。



村の花「スカシユリ」

発足30周年を記念して、「スカシユリ」を村の花に制定した。スカシユリは本州の北部に分布し、村では砂丘に群落が多く見られる。花は真夏に咲き、明るく情熱的、また太陽に向かって咲き発展向上を意味し、村を象徴するにふさわしい花ということで定めた。



村の鳥「メジロ」

発足40周年を記念して、「メジロ」を村の鳥に制定。メジロは全長約12cm、目の周りに白い輪がある鳥。甘いものが好きで、春はサクラやツバキの花などに群がり、東海村では留鳥で5～6月頃に、常緑広葉樹林で二股の枝へハンモックのような巣をつくり、親しまれている。



はじめに

村教育委員会では、平成23年3月に今後10年間の東海村が目指すべき教育の姿、そのための施策を示した「東海村教育振興基本計画―とうかい教育プラン2020―」を策定しました。昨年度（平成23年度）が実施初年度でありましたが、東日本大震災により、校舎・施設の復旧、東京電力福島原発事故に伴う放射能汚染対策等で、教育施策が十分に推進されたかは疑問であり、本年度が「とうかい教育プラン2020」の具体化に向けた本格的な取り組みの初年度と考えております。

以下は、その具体的な施策です。

1 教育立村を実現する質の高い教育行政を推進します

教育が円滑に継続的に実施されるよう、教育委員会の体制の強化と機能の充実のために、本年度から教育行政の点検評価を行い、より質の高い教育行政の実現に向け「教育委員会評価」を実施します。また、本年度から、30人以下の学級編制を小学校2学年まで拡大しました。

2 「生きる力」をはぐくむ学校教育を実践します

学校教育では、人格の完成を目指し、個性を尊重しつつ、個人の能力を伸ばし、変化の激しいこれからの社会において自立した人間を育てるために、知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」をはぐくむ学校教育の充実が求められます。その実現に向け、本年度は、第1に従前以上にスタディ・サポーターや教科特別指導員、少人数加配教員を有効活用し、きめの細かい、そして丁寧な学習指導に心がけ、「確かな授業と確かな学力」の向上に取り組んでいきます。第2に、小中学校共通指導事項である「できる やります 東海の子―あいさつ 清掃 自主学習―」を継続させるとともに、「憧れが抱ける」小中連携キャリア教育の充実に取り組んでいきます。第3に、不登校児童生徒を対象とした「教育支援センター」の役割を拡大し、子育ての悩みや学校教育に対する要望も含めた総合的に相談活動ができるような体制・機能の充実に取り組んでいきます。

3 学校・家庭・地域が相互に連携し、社会全体で教育の向上に取り組みます

本村は、「のびのびと正しく、瞳かがやく青少年を育てるまち」を宣言する村として、学校と家庭、地域住民が相互に連携・協力し、心身ともに健やかな青少年の育成に取り組んでいきます。

特に、青少年宣言推進委員会や青少年育成東海村民会議等の青少年育成関係団体と協働した事業の推進と諸団体への支援、「東海やったん祭」や「わくわく宿泊体験学習」などの青少年事業の充実、青少年相談員を中心とした巡回活動や夏期特別巡回活動などを通じた非行化防止、環境浄化のための活動と電話相談及び面接相談の実施など、青少年健全育成のための様々な事業に積極的に取り組んでいきます。

4 心豊かな人をはぐくむ社会教育の推進を図ります

本年度から「社会教育課」を改め、「生涯学習課」と名称を変更しました。誰もが、いつでも、どこでも自由に学ぶことができるような社会を実現していくため、生涯学習に対する住民ニーズの適確な把握や関係機関・団体等との連携強化に努め、子どもから大人まで、生涯に亘って学べる環境整備の充実に取り組んでいきます。また、村立図書館が平成23年10月にリニューアルオープンしました。様々な領域の情報や資料の充実を図るとともに、「出会いと交流」を合言葉に、子どもから大人までが集う「開かれた図書館事業」の充実に取り組んでいきます。生涯スポーツに関しては、体育協会や総合型地域スポーツクラブ「SC スマイル TOKAI」などの関係団体との連携を図り、スポーツイベントやレクリエーション活動を充実させ、誰もが気軽に、手軽にスポーツに親しむことができる環境づくりに努めていきます。

5 安全で安心して学べる施設の充実を図ります

幼稚園施設設備については、平成23年度の耐震診断結果に基づき、必要な改修を進めていきます。照沼小学校については、平成25年1月に新校舎建設工事を完了する予定でいます。また、東海中学校と中丸小学校については、基本設計・実施設計に着手し、早期完成を目指した着実な取り組みをしていきます。

～ 大人も 子どもも キラリ輝く まち ～

平成24年6月

東海村教育委員会教育長 川崎 松男

目 次

東海村のあらまし	1
----------------	---

教 育 行 財 政

平成24年度東海村教育行政の重点施策	5
教育委員会の沿革	6
教育委員会行政機構	10
教育委員会事務局の組織	11
平成24年度教育予算(当初)	12

学 校 教 育

学校教育の沿革	17
学校教育の現況	23
村内幼稚園等の幼児の就園状況	26
中学校卒業生の各年度別進路状況の推移	26
東海村奨学金運営事業の状況	27
東海村第5次総合計画	29

指 導 室

指導室の運営	37
--------------	----

生 涯 学 習

社会教育事業の概要	43
青少年関係機関団体活動概要	49
東海村の文化財	50
平成23年度社会教育施設利用状況	53

図 書 館

図書館事業の概要	61
資料保有状況	63
平成23年度図書館利用状況	64
図書館のあゆみ	68

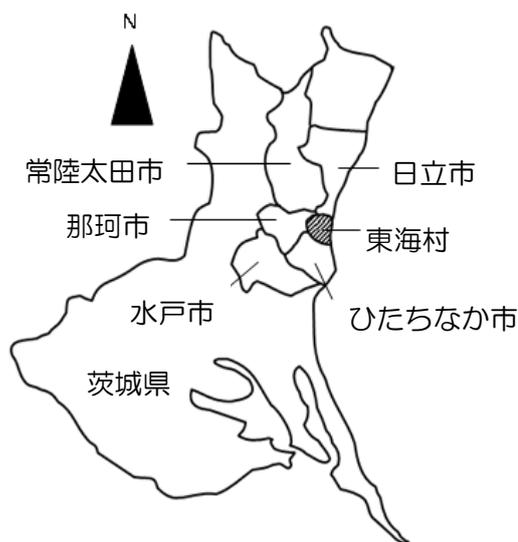
生涯学習 関連資料

青少年育成東海村民会議	71
公益財団法人東海村文化・スポーツ振興財団	75
東海村文化協会	81
東海村体育協会	83
スポーツ少年団	85
社会教育施設一覧	86

教育関係施設の位置図

東海村のあらまし

1 位置, 面積, 地勢



面積	位置		広狭		海拔
	東経	北緯	東西	南北	
37.48km ²	140° 34′	36° 28′	7.9km	7.9km	~37m

2 人口の推移

(各年1月1日現在 資料：住民基本台帳調)

年別	区分	世帯数	人口		
			総数	男	女
平成元年		9,551世帯	31,609人	15,998人	15,611人
平成2年		9,632	31,687	16,006	15,681
平成3年		9,743	31,649	15,977	15,672
平成4年		9,885	31,665	15,990	15,675
平成5年		10,101	31,887	16,094	15,793
平成6年		10,453	32,286	16,313	15,973
平成7年		10,810	32,841	16,620	16,221
平成8年		11,025	33,115	16,729	16,386
平成9年		11,278	33,385	16,827	16,558
平成10年		11,502	33,585	16,919	16,666
平成11年		11,726	33,943	17,037	16,906
平成12年		11,996	34,351	17,276	17,075
平成13年		12,177	34,517	17,392	17,125
平成14年		12,416	34,823	17,515	17,308
平成15年		12,631	34,998	17,647	17,351
平成16年		12,869	35,324	17,795	17,529
平成17年		13,034	35,564	17,918	17,646
平成18年		13,280	35,890	18,079	17,811
平成19年		13,620	36,233	18,246	17,987
平成20年		13,931	36,602	18,437	18,165
平成21年		14,152	36,920	18,612	18,308
平成22年		14,412	37,306	18,831	18,475
平成23年		14,682	37,800	19,101	18,699
平成24年		15,035	38,185	19,317	18,868

3 東海村の沿革

古代の本村の様子は、村内から出土した縄文土器・弥生土器・石器等、更に貝塚・古墳等から繁栄が推察できる。

古書によれば、平安時代には久慈郡に属し、神崎郷（旧石神）、美和郷（旧村松）と称していた。その後、鎌倉時代には、久慈郡に石神、白方、村松の地名があり、文禄3年（1594年）太閤検地の際、久慈川以南はいずれも那珂郡としたため、石神、村松も那珂郡に属するようになった。

この時代には佐竹氏の支配下にあり、村松には真崎三郎（義連）が城を築き、また石神には小野崎越前守通房が石神城を築いたが、慶長年間、佐竹義宣に従い秋田に移封され、いずれも廃城になった。

その後、この地方は水戸藩徳川氏の領地となり、幾多の変遷を経て明治22年自治制施行によって、石神村、村松村が誕生した。村松村は、照沼、石神豊岡、石神白方、船場、須和間、村松の旧村を大字と定め、石神村もまた、石神外宿、石神内宿、竹瓦、亀下、舟石川の旧村を大字と定めている。

大正3年石神豊岡を豊岡、石神白方を白方に改め、更に昭和30年3月31日町村合併促進法によって、村松村、石神村が合併して、東海村が誕生した。

4 村名のおこり

合併前の村松村、石神村両村で設けていた組合立の東海中学校から「東海」をとって、新村名は「東海村」とした。

その「東海」は藤田東湖先生の『正気の歌』の一節「卓立す東海の浜」から引用したものであるが、村の東部一帯は、広々とした太平洋に臨み、隆々たる旭日を大海に仰ぐことができ、東海の語は新村にふさわしい名前であった。今では日本の原子力センターとして広く国外にまで知られている村である。

5 国際親善姉妹都市

東海村は、昭和55年10月30日、姉妹都市提携について議会の承認を経て、昭和56年7月3日、アメリカ合衆国アイダホ州アイダホフォールズ市と国際親善姉妹都市の盟約を締結した。

アイダホフォールズ市は、人口約57,000人、周辺一帯は広大な農耕地で、アイダホポテトで知られるジャガイモの一大生産地で、市街地の中心部を流れるスネークリバーの豊富な水によって、早くから開拓された西部アメリカの古い歴史を持つ街である。同市は、原子力施設としての国立工学研究所が設置され、多くの研究者や技術者がこの街に移り住み、人口が急増している。

今日、両市村の間では、親善訪問団や交換学生の交流が行われている。

教育行財政

平成 24 年度東海村教育行政の重点施策

● 生涯にわたって学習することができ、その成果を生かせるまち ●

- 1 教育立村を実現する質の高い教育行政を推進します
 - (1) 教育委員会の体制の充実に努めます
 - (2) 教育の機会均等を図るため、村独自の取組みを進めます

- 2 「生きる力」をはぐくむ学校教育を実践します
 - (1) 確かな学力の定着を図ります
 - (2) 地域の特色や豊かな自然環境を生かした教育を進めます
 - (3) 社会の変化に対応した新しい時代にふさわしい教育を進めます
 - (4) 豊かな心と人間性を養う教育を進めます
 - (5) 幼児期の教育の充実に努めます
 - (6) 子どもたちがたくましく生きるための健康や体力づくりを進めます

- 3 学校・家庭・地域が相互に連携協力し、社会全体で教育の向上に取り組みます
 - (1) 青少年健全育成のための体制充実に努めます
 - (2) 家庭の教育力の向上を支援します
 - (3) 地域の教育力の向上を図ります
 - (4) 子どもたちの安全を確保します
 - (5) 郷土理解の促進を図ります

- 4 心豊かな人をはぐくむ社会教育の推進を図ります
 - (1) 様々な学習とその成果を発表する機会の充実に努めます
 - (2) 文化芸術活動を支援し、その振興を図ります
 - (3) 文化財の保存と活用を図ります
 - (4) スポーツ活動に関する機会の提供に努めます

- 5 安全で安心して学べる施設の充実に努めます
 - (1) 学校施設の適切な運営管理に努めます
 - (2) 学校施設の整備と改築を進めます
 - (3) 社会教育施設の整備充実に努めます

教育委員会の沿革

我が国の画期的な教育行政の改革として、教育委員会法が昭和27年10月1日に施行され、村松村教育委員会、石神村教育委員会がそれぞれ誕生した。各委員会は公選によるもの4名、議会選出1名の5名をもって組織され、事務局を各村役場内に設け、委員会の選出した教育長と若干名の主事を置いて村内一切の教育事務を所掌した。また、村松村、石神村両村の組合立中学校が昭和23年に設置されたため、別に管理委員会を設けた。委員は両村長、同教育委員会委員長及び組合会議員より選出された各地区代表委員2名の6名からなり、両村長が交代に管理委員長となり、中学校に関する職務を担当した。

昭和30年3月31日村松村、石神村両村の合併により東海村が誕生し、新たに東海村教育委員会が発足した。委員は各村公選委員中より2名ずつ互選された4名と、村議会選出委員1名を加えた5名とし、事務局を役場内に置き、委員会が選任した教育長のほか3名の主事を置いて教育行政を担当することとなった。その後新たに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が昭和31年10月1日から施行され、従来の制度を改めて、委員は市町村が議会の同意を得て任命することとなり、委員長を含む新委員5名はいずれも1年から4年の任期を付して従前の者が再任された。以後委員の任期は4年となり、幾多の変遷を経て今日に及んでいる。また合併前の旧庁舎を村松分館・石神分館として、それぞれの地区の公民館活動の拠点として活用したが、村松分館は翌年の原研設置とともに仮事務所として、石神分館は昭和37年6月から東海なかよし幼稚園石神分園として転用された。

教育委員会事務局は、昭和36年10月から学校教育、社会教育の2係制となり、職員も5名となった。昭和39年3月24日役場庁舎の火災により、事務局も焼失にあい、青年研修所（東海中学校敷地内）に移った。昭和41年4月に役場庁舎が舟石川821番地に新築されるに伴い事務局も移転し、昭和42年4月には2係制、職員7名となった。また昭和38年から41年にかけて地区公民館分館を9館建設した。資材は村松・石神小の廃材を利用し、費用の4分の3を村が負担した。

昭和49年4月からは、社会体育係が分かれ3係制となった。昭和51年5月には村立青年の家（現中央公民館）が完成し、専任の公民館長を置いて独立した公民館として活用することになり、社会教育の場としての指導体制が充実した。同時に教育委員会事務局も公民館に移転し、教育長はじめ職員16名、社会教育指導員3名、管理人1名となり事務局の組織が充実した。昭和52年4月には村民会館が開館し、芸術文化の発信拠点となった。昭和54年4月には指導主事1名が事務局に派遣され、指導体制も確立した。昭和55年8月から2課（学務課、社会教育課）1室4係制の組織で職員も20名となり、昭和57年12月には体育係が新設した総合体育館へ事務所を移し、昭和58年度には事務局職員22名となった。

昭和59年10月から村民会館の管理運営については、村長部局より教育委員会が委任され社会教育課の担当となった。

昭和60年8月に村立図書館が開館し、昭和61年度からは専任図書館長が置かれた。

昭和62年4月から社会教育課内に青少年センターが設置され、村民会館の名称も、文教地区のシンボルにふさわしく「東海文化センター」と改めた。

昭和62年度には石神コミュニティセンター、平成元年度には村松コミュニティセンターが建設さ

れた。その後、小学校区単位にコミュニティセンターを建設することとなり、平成5年度に白方コミュニティセンター、平成6年度に真崎コミュニティセンター、平成9年度に中丸コミュニティセンター、平成10年度に舟石川コミュニティセンターがそれぞれ建設された。その運営については地域の運営委員会に委託し、運営管理については社会教育課が行っていたが、平成16年度から村長部局の自治推進課に移管された。

平成3年4月1日には(財)東海村文化・スポーツ振興財団の設立に伴い、文化センター、総合体育館、ステーションギャラリーなどの管理運営が委託された。

平成5年4月には社会教育課は生涯学習の諸行事に合わせた7係制(社会教育係、文化振興係、公民館係、図書館係、文化センター管理係、体育係、青少年係)となり職員は28名となった。

更に平成8年12月1日からの部制導入に伴い、学務課が学校教育課に、社会教育課の公民館係が生涯学習係と改称された。

平成9年3月31日の役場庁舎移転新築に伴い、教育委員会事務局も白方1748番地1(その後、住居表示の実施により東海三丁目7番1号に変更)に移転した。平成11年4月には、行政行革に伴う整理統合により、生涯学習係に社会教育係を吸収し、文化センター管理を(財)東海村文化・スポーツ振興財団に全面委託するなどして、社会教育課が5係制となった。

平成12年4月には生涯学習係に文化振興係を吸収し、社会教育課が1室4係制(高校総体室、生涯学習係、青少年係、図書館係、体育係)となったが、平成13年4月に旧に復し、1室5係制となった。同時に地区公民館分館が「自治集会所」として企画課(現自治推進課)に移管された。平成15年4月には高校総体が終了したことから5係制となった。

平成16年4月からは図書館が課として位置づけされた。

平成18年4月には(財)東海村文化・スポーツ振興財団を文化センターなどの社会教育施設の指定管理者とする一方、組織機構の見直しが行われ、文化振興係と体育係を統合して文化・スポーツ振興係とし、社会教育課が3係制となった。また、指導室も2名体制から3名体制となった。

平成19年4月からは「係制」を廃止し、業務量や困難度に応じて機動的で柔軟な職員配置を行うことができる「担当制」が新たに導入された。また、指導室も発達支援教育の担当教諭を加えた6名体制となり、学校教育課(企画総務担当、学校教育担当)、社会教育課(生涯学習担当、文化・スポーツ振興担当、青少年担当)、図書館(サービス・管理担当)、指導室による3課1室6担当となった。

平成23年5月からは、学校教育課に施設整備担当、社会教育課に中央公民館担当が新たに位置づけられ、3課1室8担当となった。また、適応指導教室が教育支援センターと改められた。

平成24年4月からは、社会教育課が生涯学習課に変更になり、生涯学習担当に中央公民館担当を吸収し、3課1室7担当となった。

歴代委員長

氏名	住所	任期	備考
黒沢 芳雄	東海村大字石神外宿	昭和30. 3～昭和35. 9	公選30. 3～31. 9
高槌 安	〃 石神外宿	昭和35. 12～昭和38. 10	
照沼 信邦	〃 照沼	昭和38. 11～平成 4. 10	
金子 二郎	〃 竹瓦	平成 4. 10～平成10. 10	
萩谷 準	〃 船場	平成10. 10～平成20. 10	
越塚ゆかり	東海村白方中央	平成20. 10～平成23. 12	
塙 厚	東海村大字須和間	平成24. 1～	

歴代教育長

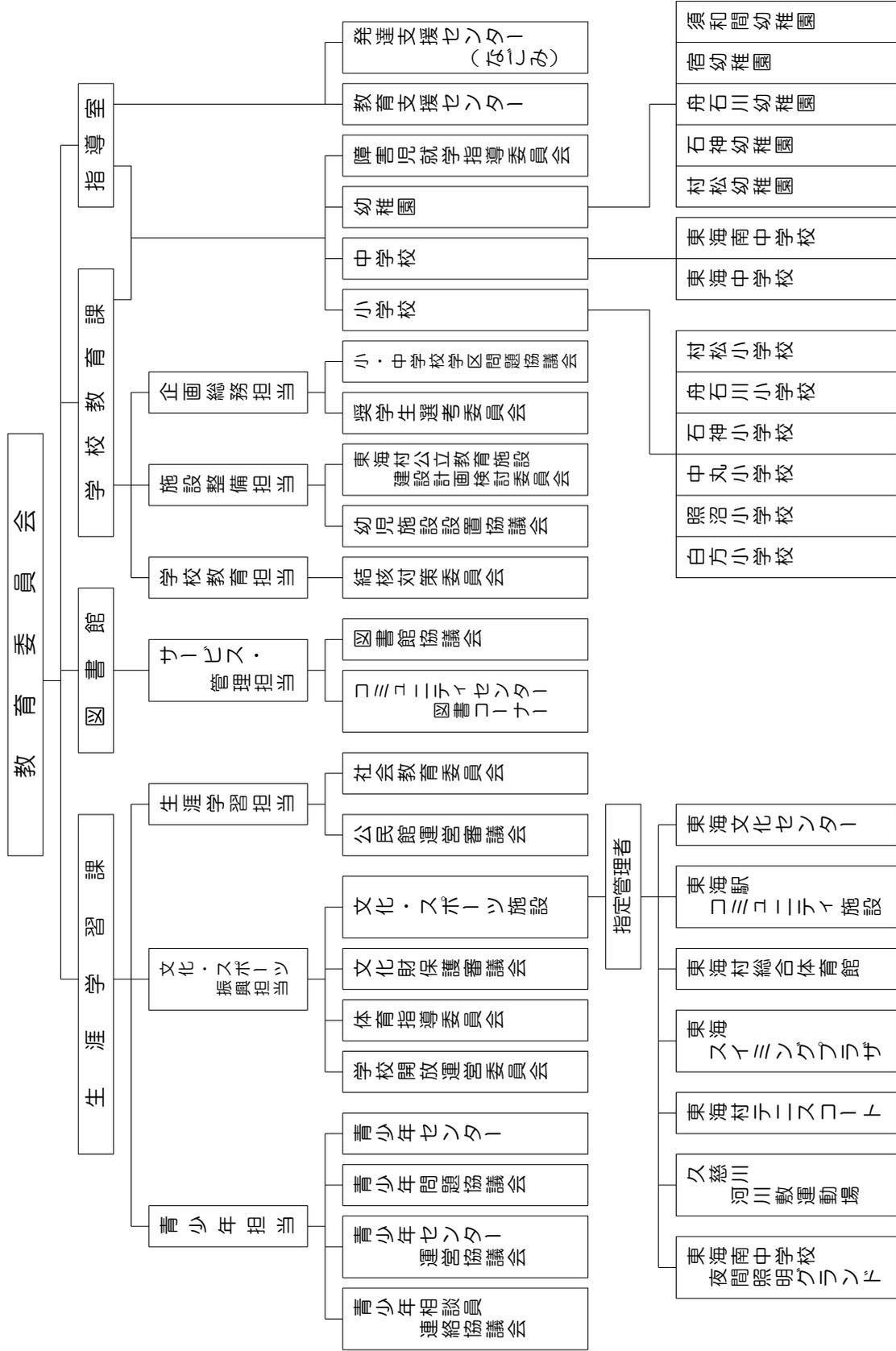
氏名	住所	任期	備考
照沼 節義	東海村大字照沼	昭和30. 3～昭和35. 9	公選30. 3～31. 9
川崎忠四郎	〃 白方	昭和35. 12～昭和38. 10	
高槌 安	〃 石神外宿	昭和38. 11～昭和39. 11	
大内 捨次	〃 白方	昭和39. 12～昭和50. 6	
大島 正	〃 村松	昭和50. 6～昭和56. 6	
金田 清	〃 舟石川	昭和56. 7～昭和60. 11	
高野 唯	〃 白方	昭和60. 12～昭和63. 10	
小林 量介	〃 舟石川	昭和63. 10～平成 3. 2	
清水 澄夫	〃 白方	平成 3. 4～平成14. 3	
高橋 健彦	〃 石神外宿	平成14. 4～平成23. 12	
川崎 松男	〃 白方	平成24. 1～	

歴 代 委 員

氏 名	住 所	任 期	備 考
照沼 節義	東海村大字照沼	昭和30. 3. 31～昭和35. 9. 30	公選昭和30. 3. 31～昭和31. 9. 30
黒沢 芳雄	〃 石神外宿	30. 3. 31～ 〃 35. 9. 30	
川崎志農夫	〃 村松	30. 3. 31～ 〃 34. 9. 30	
塙 馨	〃 須和間	30. 3. 31～ 〃 31. 3. 31	
根本 力	〃 竹瓦	30. 3. 31～ 〃 31. 3. 31	
小泉 勝一	〃 船場	30. 3. 31～ 〃 31. 9. 30	議会選出
石川孝一郎	〃 舟石川	31. 3. 31～ 〃 32. 9. 30	
塙 幸一	〃 須和間	31. 3. 31～ 〃 33. 9. 30	
藤井 実	〃 石神外宿	33. 3. 20～ 〃 37. 3. 19	
藤田 勝一	〃 村松	33. 10. 1～ 〃 35. 1. 1	
川崎忠四郎	〃 白方	34. 10. 17～ 〃 38. 10. 16	
萩谷秋次郎	〃 船場	35. 3. 15～ 〃 37. 9. 30	
高槌 安	〃 石神外宿	35. 12. 1～ 〃 39. 11. 30	
照沼 信邦	〃 照沼	35. 12. 1～平成4. 10. 5	
石川 紀	〃 舟石川	37. 3. 26～昭和41. 3. 25	
須和 清彦	〃 須和間	37. 10. 18～ 〃 41. 10. 17	
大内 捨次	〃 白方	38. 10. 26～ 〃 50. 6. 1	
飛田 梅男	〃 石神内宿	39. 10. 1～ 〃 43. 9. 30	
舛井 正明	〃 石神外宿	41. 3. 26～ 〃 45. 3. 25	
本多 忠二	〃 村松	42. 10. 26～ 〃 46. 10. 25	
青地 哲男	〃 舟石川	43. 10. 1～ 〃 47. 9. 30	
石橋 秋	〃 石神外宿	45. 7. 2～ 〃 52. 9. 27	
坪 常美	〃 船場	46. 11. 16～ 〃 50. 10. 25	
原 昌雄	〃 舟石川	47. 10. 1～ 〃 59. 10. 5	
大島 正	〃 村松	50. 6. 28～ 〃 56. 6. 30	
根本 義男	〃 竹瓦	52. 9. 27～ 〃 57. 12. 21	
根本 正	〃 須和間	52. 9. 27～ 〃 60. 10. 7	
金田 清	〃 舟石川	56. 7. 1～ 〃 60. 11. 30	
市毛 貢	〃 竹瓦	57. 12. 22～平成2. 12. 21	
高野 唯	〃 白方	59. 10. 6～昭和63. 10. 5	
塙 隆	〃 須和間	60. 10. 8～平成9. 10. 7	
小林 量介	〃 舟石川	60. 12. 10～ 〃 3. 2. 28	
柴 是行	〃 豊岡	60. 10. 6～ 〃 4. 10. 5	
金子 二郎	〃 竹瓦	平成2. 12. 22～ 〃 10. 12. 21	
清水 澄夫	〃 白方	〃 3. 4. 1～ 〃 14. 3. 31	
萩谷 準	〃 船場	〃 4. 10. 6～ 〃 20. 10. 5	
黒羽根弘一	〃 村松	〃 4. 10. 6～ 〃 16. 10. 5	
阿部 勝子	〃 舟石川	〃 9. 12. 16～ 〃 13. 12. 15	
若山 直昭	〃 石神内宿	〃 10. 12. 22～ 〃 18. 12. 21	
舛井 正義	〃 石神外宿	〃 18. 12. 22～ 〃 22. 12. 21	
越塚ゆかり	東海村白方中央	〃 13. 12. 20～ 〃 23. 12. 14	
高橋 健彦	東海村大字石神外宿	〃 14. 4. 1～ 〃 23. 12. 14	
原 淑行	〃 村松	〃 16. 10. 6～ 〃 24. 10. 5	現委員
塙 厚	〃 須和間	〃 20. 10. 6～ 〃 24. 10. 5	現委員
小泉裕理子	〃 石神外宿	〃 22. 12. 22～ 〃 26. 12. 21	現委員
根本 仁子	〃 竹瓦	〃 23. 12. 15～ 〃 25. 12. 19	現委員
川崎 松男	〃 白方	〃 24. 1. 1～ 〃 27. 12. 31	現委員

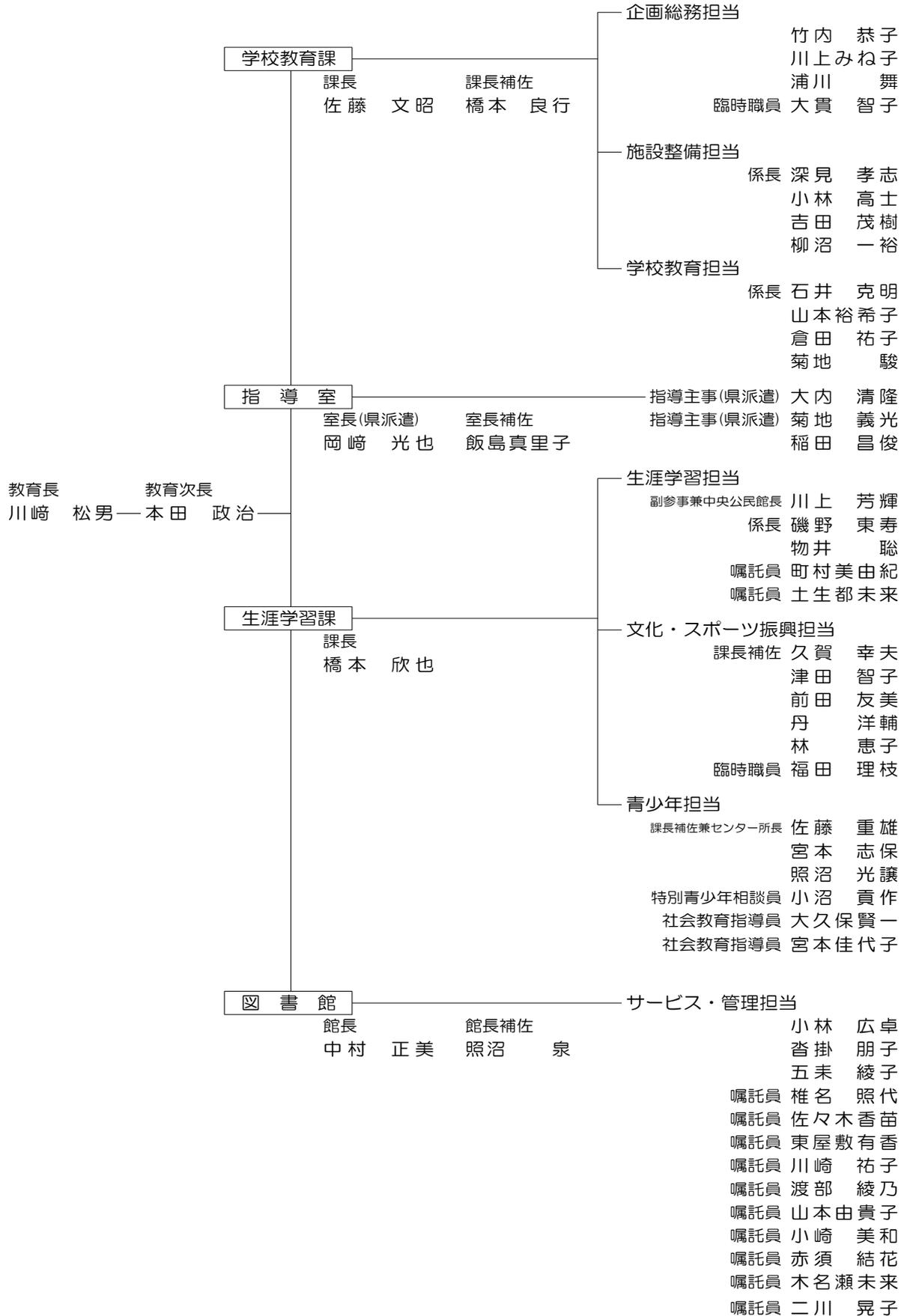
教育委員会行政機構

平成24年4月1日現在



教育委員会事務局の組織

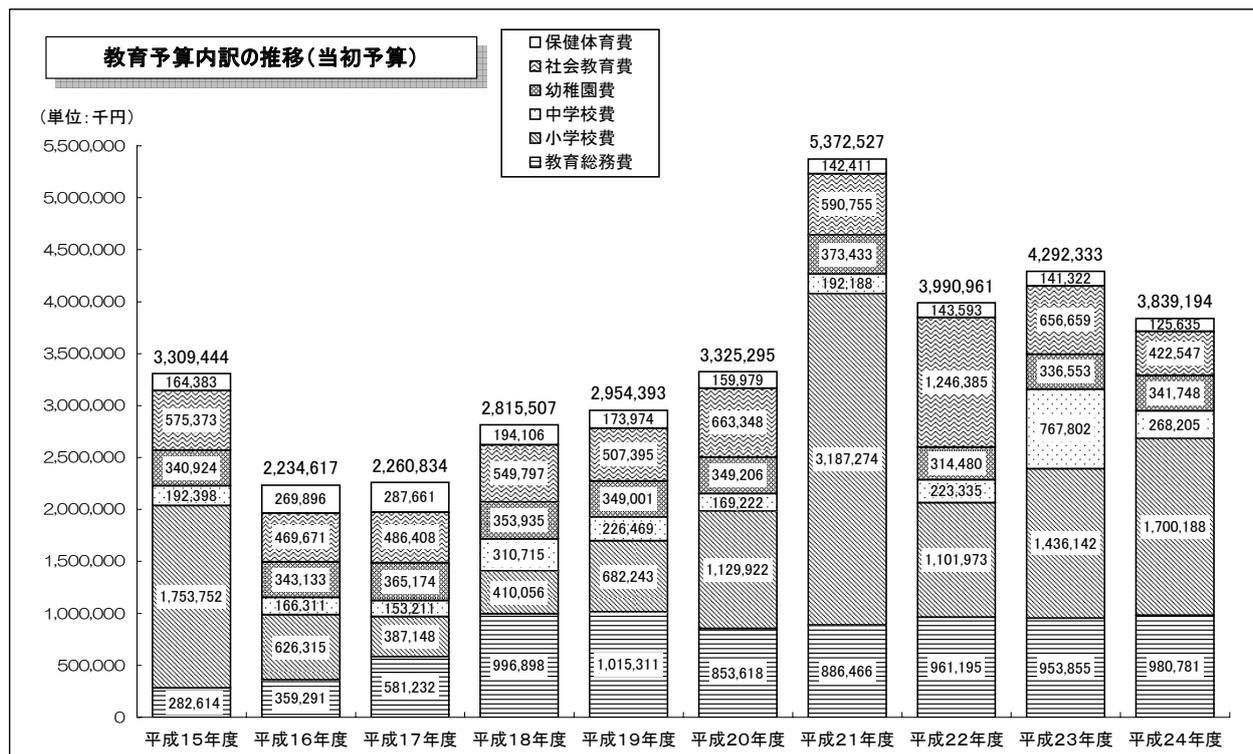
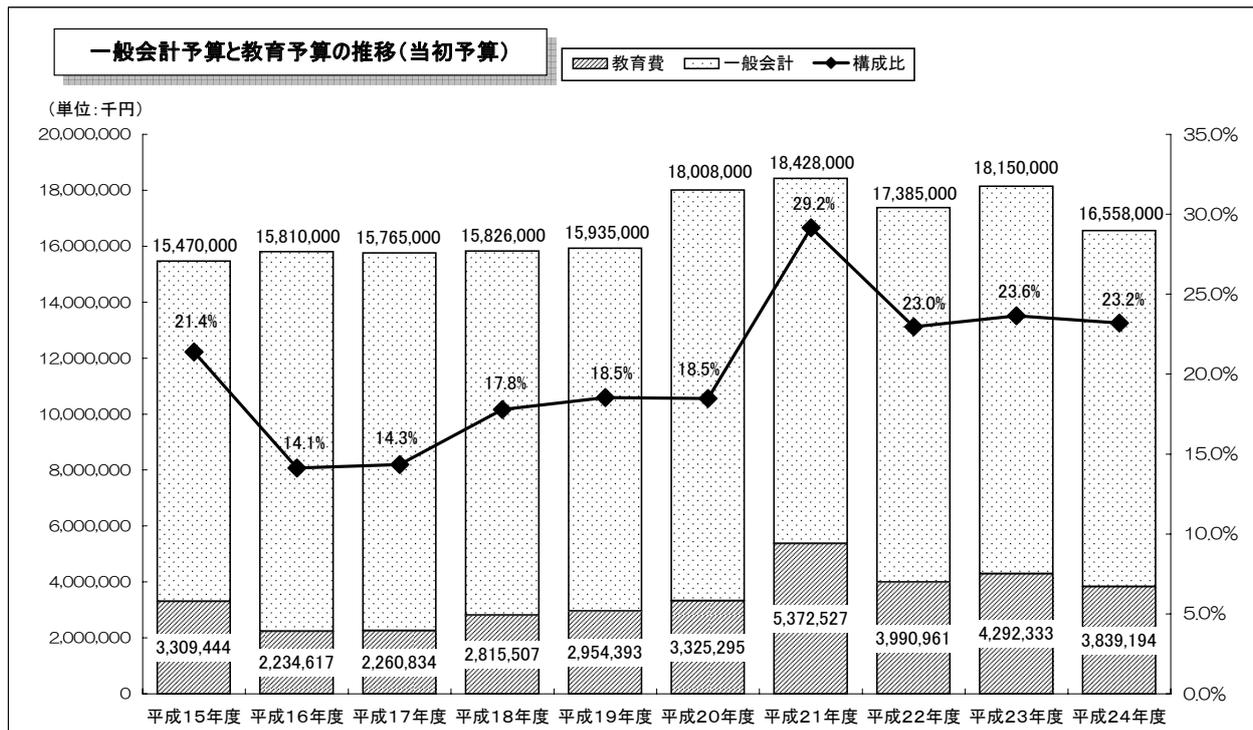
平成24年4月1日現在



平成24年度教育予算（当初）

（単位：千円）

項	目	金 額	備 考
教育総務費	教育委員会費	1,870	
	事務局費	741,015	
	教育指導費	237,986	
	計	980,871	
小学校費	学校管理費	297,929	
	教育振興費	65,753	
	照沼小学校建設費	1,273,517	
	中丸小学校建設費	62,989	
	計	1,700,188	
中学校費	学校管理費	114,128	
	教育振興費	43,744	
	東海中学校建設費	110,333	
	計	268,205	
幼稚園費	園管理費	315,798	
	教育振興費	25,950	
	計	341,748	
社会教育費	社会教育総務費	156,723	
	文化振興費	22,066	
	青少年対策費	22,159	
	公民館費	13,928	
	図書館費	73,314	
	文化センター費	99,289	
	駅コミュニティ施設費	35,068	
	計	422,547	
保健体育費	保健体育総務費	22,139	
	社会体育費	103,496	
	計	125,635	
合 計		3,839,194	一般会計総額16,558,000千円 一般会計に占める割合23.2%



在学者一人当たりの教育費の推移

(各年 5月1日現在の常住人口)

	村民数(人)	村民1人当たり教育費(千円)	教育費に占める小学校費の割合	児童1人当たり小学校費(千円)	教育費に占める中学校費の割合	生徒1人当たり中学校費(千円)	教育費に占める幼稚園費の割合	園児1人当たり幼稚園費(千円)	備考
平成15年度	35,007	95	53%	802	6%	212	10%	597	石神小建設
平成16年度	35,281	63	28%	278	7%	179	15%	595	
平成17年度	35,495	64	17%	166	7%	164	16%	656	
平成18年度	35,711	79	15%	172	11%	324	13%	649	
平成19年度	36,067	82	23%	282	8%	217	12%	667	
平成20年度	36,353	91	34%	456	5%	156	11%	711	
平成21年度	36,767	146	59%	1,269	4%	178	7%	754	白方小建設
平成22年度	37,198	107	28%	423	6%	208	8%	623	
平成23年度	37,582	114	33%	550	18%	701	8%	679	
平成24年度	38,104	101	44%	664	7%	230	9%	753	照沼小建設

学 校 教 育

学校教育の沿革

本村の教育の沿革をみると明治5年（1872年）の学制発布以前の実態については、資料が散逸して定かでないが、寺院等で読み書き、珠算等の教育が行われていたという古老の言い伝えが残っている。明治6年真崎に民家を借りて村松小学校が創設され本村の初等教育の先駆をなし、続いて各所に学校を設置し、その後130年余りの統廃合等改革変遷の歴史を経て、昭和57年に村立の幼稚園5、小学校6、中学校2の体制となって現在に至っている。

各々の沿革は次のとおりである。

1 東海村立白方小学校

前身は旧村松小学校であり、昭和37年4月に白方小学校として開校し、今日に及んでいる。旧村松小学校の沿革は、明治6年11月村松、石神白方（現白方）、石神内宿、須和間の4ヶ村が連合して村松小学校を設置し、村松村の真崎に民家の一棟を借用して開校した。

明治19年（1886年）2月小学校区改正のため、村松小学校及び亀下小学校を合併して石神白方村に位置を変更して石神白方尋常小学校と称した。

明治22年（1889年）の町村制施行により、村松、照沼、石神白方、石神豊岡（現豊岡）、須和間、船場の6ヶ村が合併して村松村となるに及び、村松尋常小学校と改称し、同時にその分教場を須和間に設置した。

明治28年（1895年）11月村松宿に村松第二尋常小学校が設置されたので、もとの村松尋常小学校を村松第一尋常小学校と改めた。

明治33年（1900年）10月、村松高等小学校（修業年限3年、同35年4月に改める）設置の許可を受け、同34年9月に真崎の民家の一棟を借用して開校し、同38年9月村松の山林を校地に買受け校舎を新築し移転した。（現日本原子力研究開発機構サッカー場）

明治41年4月村松高等小学校に村松第一、第二尋常小学校を合併して、村松尋常高等小学校と改称し、小学校令の改正に伴い、修業年限は尋常科6年高等科2年となった。昭和16年4月国民学校令の施行により村松国民学校と改称し、尋常科は初等科と名称を変更した。

更に、昭和22年4月には学校教育法が施行され、初等科はそのまま村松小学校となり、高等科は廃して別に、義務制による村松中学校を同校に併設した。翌年4月には村松中学校と石神中学校が合併して東海中学校が発足し、同年9月には大字舟石川の現在地に移転した。

昭和30年3月東海村誕生により、東海村立村松小学校と改めた。以来、原子力機関の設置の進展に伴う人口及び児童数の増加によって村松小学校の改築が話題となり、原子力施設の近辺である白方、照沼に分割することになった。昭和37年4月に鉄筋コンクリート造りの校舎を建設し、学区を真崎、白方、豊岡、岡、亀下、荒谷台、滝坂、長堀として白方小学校が発足した。

その後同年9月講堂が完成し、昭和39年3月3階の一部を増築し、更に児童の増加が著しいた

め昭和42年12月に6教室を増築した。昭和44年8月には25mプールが完成し、昭和46年には長堀の児童を中丸小学校へ編入し、昭和48年12月には屋内運動場の完成をみるに至った。

この学区は、村内でも人口増の激しいところであり、昭和49年3月給食棟が完成し、同年7月鉄骨校舎（9教室）を増築し、昭和53年3月に便所が水洗化された。昭和57年4月にはマンモス化の解消として村松小学校への分離により、学区は白方、百塚、岡、豊岡、亀下、動燃百塚（現日本原子力研究開発機構百塚）、真崎の一部地区の計7区となった。同年4月よりことばの学級が開設され、昭和59年4月より情緒学級も併設されて障がい児教育の統合がなされた。現在の学区は豊白区、村松北区を加えた9区となっている。

昭和37年3月の竣工以来、築45年が経過する中、老朽化が進み、耐震・耐久性、敷地の狭隘化といった様々な課題を抱えていたことから、安全・安心な学校づくり交付金事業として平成20・21年度にかけて現在地に新たな校舎を建設し、平成21年10月に完成した。

2 東海村立照沼小学校

前身については、白方小学校の沿革で説明があるので省略するが、昭和37年4月照沼に鉄筋コンクリート造りの12学級規模の近代的な校舎が完成し、学区は宿、照沼、川根、晴嵐荘（その後会員の減少により解散）、動燃箕輪（現日本原子力研究開発機構箕輪）で開校することになった。

同年9月には講堂が完成し、昭和44年8月には25mプールが完成した。その後、児童数が減少の傾向にあったが、動燃太田団地（現日本原子力研究開発機構太田団地）が完成して学区に加わったことなどにより増加がみられるようになり、昭和51年7月には屋内運動場が完成し、昭和53年3月に便所が水洗化され、昭和60年3月に特別教室（理科室、視聴覚室）が完成した。

3 東海村立中丸小学校

前身は須和間小学校であり、昭和45年9月に須和間小学校を現地に移転、昭和46年4月中丸小学校として開校した。学区を須和間、船場、押延、緑ヶ丘、長堀、舟石川の一部とし、今日に及んでいる。

中丸小学校の前身である須和間小学校の沿革は、明治22年当初村松尋常小学校須和間分教場として、大字須和間（現須和間幼稚園）に設置され、須和間、船場、押延をその学区とし、翌年4月校舎を新築した。その間、本校の改称に伴い、明治29年4月、村松第一尋常小学校須和間分教場、明治41年4月村松尋常高等小学校須和間分教場、昭和16年4月村松国民学校須和間分教場、昭和22年4月村松小学校須和間分教場と数回にわたって校名の改称が行われた。

昭和24年1月独立校に昇格して、村松村立須和間小学校となり、同30年3月東海村立須和間小学校と改めた。その後、校舎の改築にあたり、校地の狭隘なことと、白方小学校の児童数の増加の関連で中丸地区に校地を求め、昭和45年鉄筋校舎と25mプールが完成した。昭和46年4月1日校名変更により東海村立中丸小学校と改称した。昭和46年11月には屋内運動場が村内小学校で最初に完成し、その後児童数の増加によって昭和50年4月には8教室の鉄骨校舎を増築、昭和53年

3月には南台団地が分譲となって3教室の増築，更に昭和54年に特別教室2教室の増築を行った。昭和56年4月からは船場地区が舟石川小学校に編入され，昭和58年2月には普通教室3教室が増築され児童の急増に対応する不足教室の解消がなされた。

平成12年3月には電源立地促進対策交付金（現電源立地地域対策交付金）事業として，屋外運動場を整備した。

その後，耐震上の問題から昭和50年4月と昭和53年3月に増築した鉄骨校舎を解体し，平成20年5月に普通教室・特別教室併せて5教室の鉄骨校舎を，平成23年8月に屋内運動場を建設した。

4 東海村立石神小学校

学制施行以後明治10年（1877年）頃，以前より寺子屋として使用していた倉庫等の建物を利用して石神外宿に石神小学校を開校した。当時は，石神外宿及び本米崎村より登校し，初等科と中等科を置いた。

明治22年町村制施行により，石神外宿，石神内宿，亀下，竹瓦，舟石川の5ヶ村が合併して石神村となるに及び同年9月，現在の敷地に校舎を新築移転して石神尋常小学校と改称した。

明治43年に高等科を併設して石神尋常高等小学校と改め，その後，学制の改革に伴い，昭和16年4月に石神国民学校，昭和22年4月に石神小学校となり，別に義務制の石神中学校が併設され，翌年9月に石神中学校が村松石神組合立東海中学校に移転した。

昭和29年には講堂を新築し，昭和30年東海村誕生により東海村立石神小学校と改め，昭和37年4月白方小学校開校にあたり亀下が白方小学校学区となり，昭和38年3月には特徴のある鉄筋の校舎が完成し，昭和44年8月には25mプールが完成した。

その後，児童数の増加により，昭和46年3月及び51年3月と2回にわたって校舎を増築し，昭和52年3月には屋内運動場が完成した。昭和56年4月の舟石川小学校開校に伴い舟石川地区が分割され，舟石川小学校区に編入されたため適正規模の学校となった。学区は外宿一区，二区，内宿一区，二区，竹瓦となった。

昭和38年3月の竣工以来，増築を重ねてきた校舎も老朽化が進み，平成14・15年度にかけて原子力発電施設等立地地域長期発展対策交付金（現電源立地地域対策交付金）事業として地域開放型の将来の教育に対応するための新たな校舎を建設し，平成15年12月に完成した。

平成16年8月末には屋外運動場が整備され，平成17年3月には25mプールとサブプールが完成した。

5 東海村立舟石川小学校

石神小学校へのスクールバス通学の解消と中丸小学校の過密解消を目的として，舟石川一区，二区，船場の3地域の小学校を建設するよう教育審議会より答申されていたが，昭和54年度に約40,000m²の用地を確保し，昭和55年7月に校舎と屋内運動場の建物に着手し，昭和56年4月に舟石川小学校が開校した。

校舎は近代的な明るい3階建ての立派なもので、ゆとりと充実した教育ができるような配慮をしたモデル的な学校で校庭も広く屋外運動場も2面となっている。昭和56年の夏には25mプールも完成し、本村初めての徒渉プールも設置され、教育環境に恵まれた学校である。

平成19年10月には茨城県原子力地域振興事業費補助金事業として『学校トイレ改修基本計画』に基づき校舎東側便所、特別教室棟便所及び屋内運動場便所の改修工事を、平成20年10月には同補助金事業として校舎東側便所改修工事をを行い、併せて屋内運動場内外装改修工事を行った。

さらに翌年の平成21年10月には、劣化が著しい校舎の外装改修工事を、平成22年3月には屋外便所の改修工事が行われた。

平成20年以降、児童数の増加や特別支援学級の設置に加え、平成22年度から実施している『少人数学級編成(30人学級)』により教室が不足することから、平成23年3月に新たに6教室の増築を行った。

6 東海村立村松小学校

白方小学校の大規模化の解消と長期展望にたった分割で、舟石川3区、荒谷台住宅、滝坂住宅、真崎の一部の地域を学区として、昭和57年4月から、真崎地区に村松小学校が発足することになった。

昭和54年度に約40,000m²の敷地を確保して、昭和56年7月に校舎と屋内運動場の建設に着手し、昭和57年4月に開校した。校舎は鉄筋コンクリート造り3階建てで、校庭も広く設備も充実している。昭和57年8月には徒渉プールを備えた25mプールも完成し、ゆとりと充実した学校にふさわしい内容で、周辺の教育環境にも恵まれている。

平成19年10月には茨城県原子力地域振興事業費補助金事業として『学校トイレ改修基本計画』に基づき普通教室棟の便所の改修工事を、平成20年10月には同補助金事業として特別教室棟便所及び屋内運動場便所改修工事を行った。屋内運動場は、内外に経年劣化が見られたことから、平成19年10月に外装改修工事を、平成21年9月に内装改修工事を行った。

また、平成21年8月には衛生管理面の改善のため、給食室の改修工事をを行い、翌年9月には、劣化の著しい校舎の外装改修工事を行った。

7 東海村立東海中学校

昭和22年、いわゆる6・3制学校教育の施行により、各市町村に中学校の設置義務が課せられ、同年10月に村松村、石神村両村で中学校合併の協議がまとまり、組合立中学校設置が決定した。直ちに前渡飛行場の兵舎2棟を払い下げ、舟石川(現在地)の約49,600m²の民地を買収して建設に着手し、翌年3月19日校名を村松石神組合立東海中学校として知事より認可された。同年4月1日工事未完了のため従前どおり両教場に別れたまま東海中学校を開校し、9月に木造2階建て校舎が完成し、授業を開始することになった。

昭和30年3月両村で合併することになり、その先駆をなす校名である「東海」を村名とするこ

とになって東海村立東海中学校と改めた。

その後、昭和35年3月に屋内運動場が郡下のトップをきって完成した。昭和39年3月敷地内の役場火災によって一部の校舎が焼失したが、昭和40年3月には鉄筋コンクリート造り3階建ての校舎が完成した。

昭和48年4月に、生徒数の増加に対処すべく鉄筋校舎7教室が完成し、同年7月には50mプールが、昭和50年10月には格技場が、昭和53年3月には技術棟が完成し、学校体育施設の整備充実がなされ、知力、体力の二面にわたるバランスのとれた充実した中学教育が推進された。しかし、昭和52年5月の生徒数は1,156名、学級数27となり大規模化したため学校規模を適正化する必要に迫られ、学区審議会の答申に基づき東海中学校の分割が行われた。昭和53年4月には東海南中学校が設置され、白方小学校区、石神小学校区、村松小学校区で新しく学区が編成されたため30年間一村一中学校であった特質はなくなったが、村内二中学校体制となって相互に切磋琢磨しあって教育効果を高めている。平成7年6月に老朽化した屋内運動場が取り壊され、同じ敷地に鉄筋・鉄骨造りの屋内運動場が建設され、平成8年2月に完成した。

平成20年4月には耐震上の問題から昭和48年4月に増築した鉄骨校舎を解体し、普通教室・特別教室併せて5教室の鉄骨校舎を同位置に建設した。

平成23年度には、屋外運動場の狭隘化の解消及び東海南中学校との校地の均衡を図ることを目的とし約24,700㎡を取得後、平成24年度に野球場・陸上トラックを主とする第2屋外運動場として整備が完了した。

8 東海村立東海南中学校

昭和52年当時東海中学校の生徒数の増加が著しく、長期展望にたつて学区の再編成をすることになり、照沼小学校区、中丸小学校区並びに石神小学校区の一部を含めた地域で、新設の中学校区を決定し、校名も現在の東海中学校との一体感をとる見地から東海南中学校とすることになった。

昭和52年度に、村の公共用地約57,000㎡の敷地を確保し、校舎の建設に着手し、昭和53年6月校舎が完成した。校舎は鉄筋コンクリート造り4階建てで、特別教室は3階建、更に技術棟も併設されるなど設備内容も最新のものであり、将来の増築を考慮して建物敷地も大きく、特に屋外運動場は、野球場・陸上競技場の2面となっている。昭和54年3月に屋内運動場、同年7月には25mプールが、昭和55年3月には格技場が完成し体育施設が整備され、昭和57年2月に9教室の増築がされた。周辺には東海高校や中丸小学校が所在する恵まれた教育環境にある。

学区は、昭和56年4月の舟石川小学校開校に伴い、照沼小学校区、中丸小学校区、舟石川小学校区となった。

平成12年度には電源立地促進対策交付金事業として、野球場・テニスコートなど屋外運動場の整備を行った。平成17年度には、校舎の耐震補強工事を行うとともに、『学校トイレ改修基本計画』に基づき西側便所の改修工事を、平成18年度には屋内運動場の耐震補強工事と校舎の東側便所及び外部改修工事を、平成20年3月には屋内運動場便所の改修工事をそれぞれ行った。また、

平成23年3月には、校舎棟にエレベーター及び多目的トイレの整備が行われ、バリアフリー化が図られた。

9 幼稚園の沿革

原子力研究所の設置以来、原子力関係機関の職員・家族の幼児教育の関心が高まり、原子力研究所荒谷台住宅の公共棟を使用して、昭和34年4月私立幼稚園が発足した。原子力関係職員の子弟のみでなく、一般村民の子弟の希望者も入園させるようになり、昭和37年6月に石神小学校区の父兄の要望に応え石神分園（旧石神村役場）が開園された。

昭和38年11月学校法人東海学園が経営する東海なかよし幼稚園となり、宮内庁より建舎の払下げを受け、昭和40年3月園舎が現在の大字村松に完成した。

以来、本村の人口増に伴い園児も急激に増加し、私立幼稚園における施設増設等の限界と村立化の気運が高まったことを受け、昭和47年11月東海なかよし幼稚園は東海村立村松幼稚園と改称した。また、石神分園は東海村立石神幼稚園として独立し、おのおの4、5才児の2年保育制として公立化された。

村松幼稚園の過密化解消のため、昭和48年4月には東海村立舟石川幼稚園が、昭和49年5月には晴嵐荘（現茨城東病院）敷地の払下げを受けて東海村立宿幼稚園が、昭和50年4月には須和間小学校跡地に東海村立須和間幼稚園がそれぞれ開園した。

須和間幼稚園では昭和53年3月に1保育室が増築され、昭和55年1月には宿幼稚園、昭和55年2月には石神幼稚園が増築され、更に須和間幼稚園には園児の急増対策としてプレハブの保育室が完成した。昭和58年1月には須和間幼稚園の不足保育室解消のため1保育室を増築し、幼児教育の場は着々と整備された。

昭和58年度からは、障がい児教育の充実化を図るため、白方小学校に設置されていた情緒・言語学級に幼稚園教諭を派遣し、「こころとことばの教室」を開設した。また、平成元年3月には村松幼稚園が鉄筋コンクリート2階建ての近代的園舎に改築され、より一層幼児教育施設の整備・充実がなされた。

平成11年4月から、更なる幼児教育の振興と充実を図るため、全幼稚園を対象に3歳児保育を開始した。また、幼稚園の専任園長は、従来村松幼稚園だけであったが、園の運営管理面の強化充実を図るため、平成11年4月に石神幼稚園と舟石川幼稚園、平成12年4月に須和間幼稚園と宿幼稚園に専任園長を配置して、全幼稚園に専任園長制を導入した。

平成19年4月からは、保護者の子育てを支援するため「預かり保育」を開始した。また7月から「こころとことばの教室」を「発達支援センター」と改め、東海村総合支援センター「なごみ」内に移した。

学校教育の現況

1 敷 地

平成24年5月1日現在

学校(園)名	所 在 地	校(園)庭面積(m ²)	建物敷地面積(m ²)	敷地面積(m ²)
白方小学校	東海村大字白方2009	23,910	17,255	41,165
照沼小学校	〃 大字照沼930	10,569	5,828	16,397
中丸小学校	〃 大字村松2124	17,324	9,630	26,954
石神小学校	〃 大字石神外宿1055	13,690	8,330	22,020
舟石川小学校	〃 大字舟石川690-1	24,264	13,572	37,836
村松小学校	〃 大字村松1443	23,872	14,985	38,857
東海中学校	〃 大字舟石川825	45,227	16,001	61,228
東海南中学校	〃 大字船場768	38,680	17,686	56,366
村松幼稚園	〃 村松北1-4-1	2,583	2,989	5,572
石神幼稚園	〃 大字石神外宿945	952	810	1,762
舟石川幼稚園	〃 大字舟石川453	2,075	1,200	3,275
宿幼稚園	〃 大字村松3370-1	2,367	1,560	3,927
須和間幼稚園	〃 大字須和間440	1,428	1,275	2,703

2 建 物

学校(園)名	建物面積(m ²)	校 舎	教 室		給食室	屋 内 運動場(m ²)	プール(m)	格技場(m ²)
			普通	特別				
白方小学校	8,267	鉄筋2階, 鉄骨2階	28	12	1	1,385	25	
照沼小学校	2,198	鉄筋3階, 鉄骨2階	6	7	1	713	25	
中丸小学校	3,703	鉄筋3階	19	6	1	1,344	25	
石神小学校	5,513	鉄筋3階	15	10	1	1,359	25	
舟石川小学校	4,008	鉄筋3階	21	8	1	836	25	
村松小学校	3,781	鉄筋3階	12	7	1	835	25	
東海中学校	5,021	鉄筋3階, 鉄骨2階	19	14	1	1,103	50	551
東海南中学校	5,906	鉄筋4階, 鉄骨1階	19	16	1	1,231	25	590
村松幼稚園	2,038	鉄筋2階	8	1				
石神幼稚園	492	鉄骨平屋	3	1				
舟石川幼稚園	710	鉄骨平屋	5	1				
宿幼稚園	537	鉄骨平屋	3	1				
須和間幼稚園	721	鉄骨平屋	5	1				

3 児童生徒数

平成24年5月1日現在

()内数字は学級数

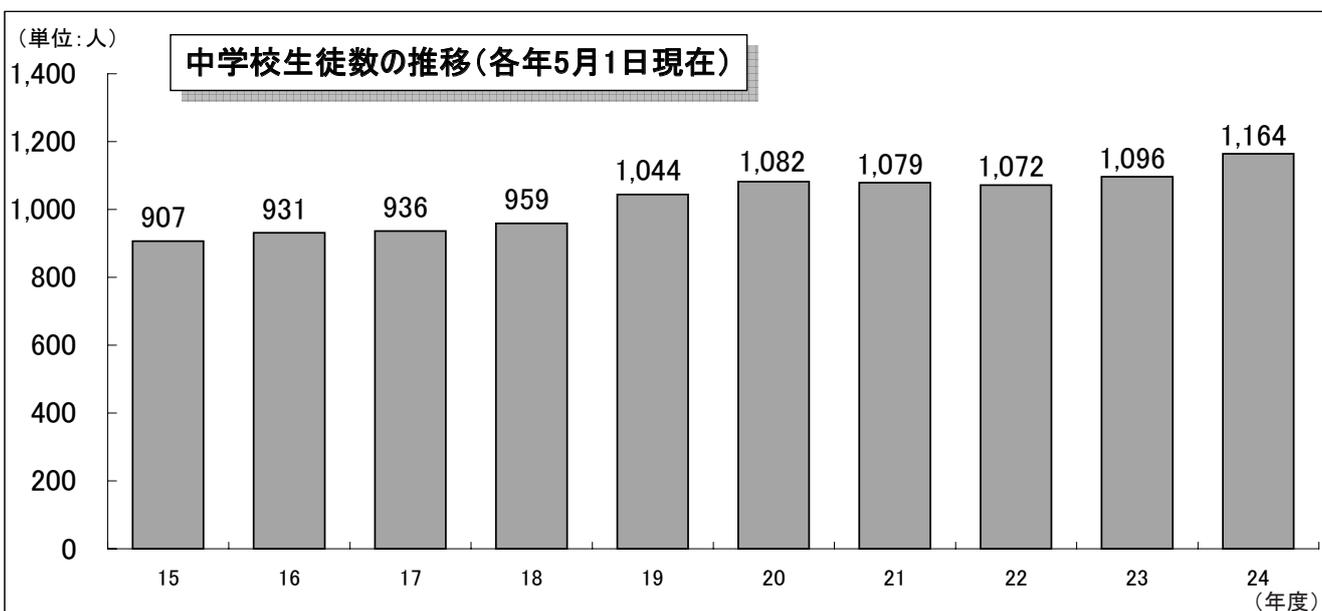
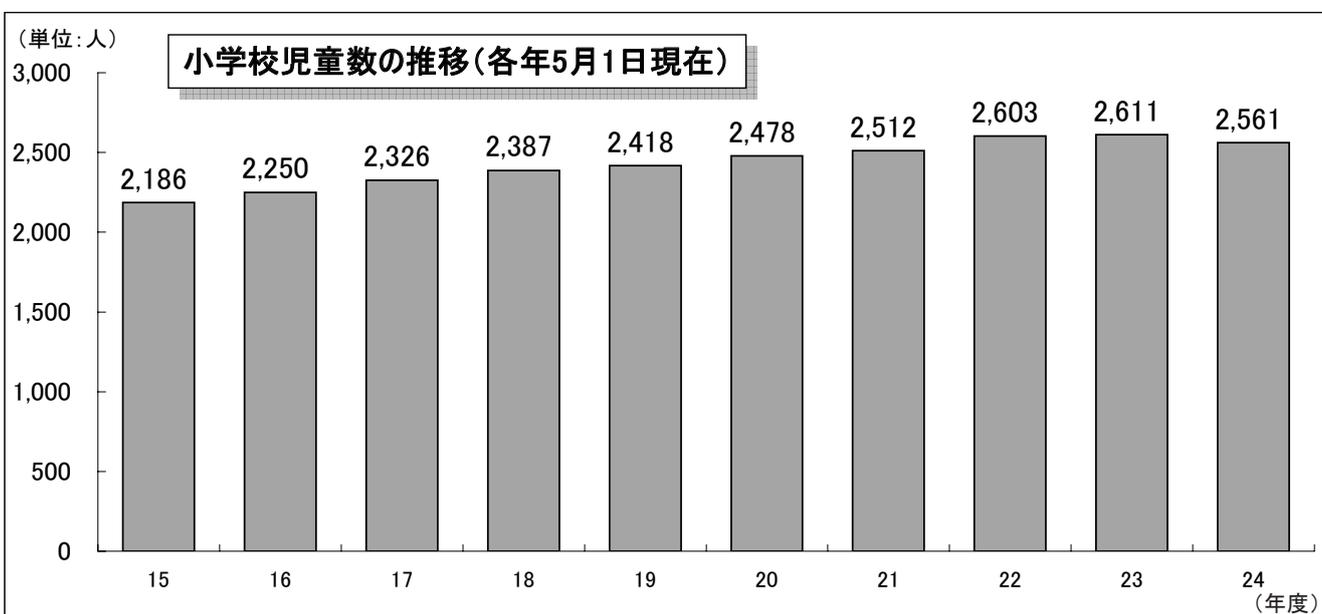
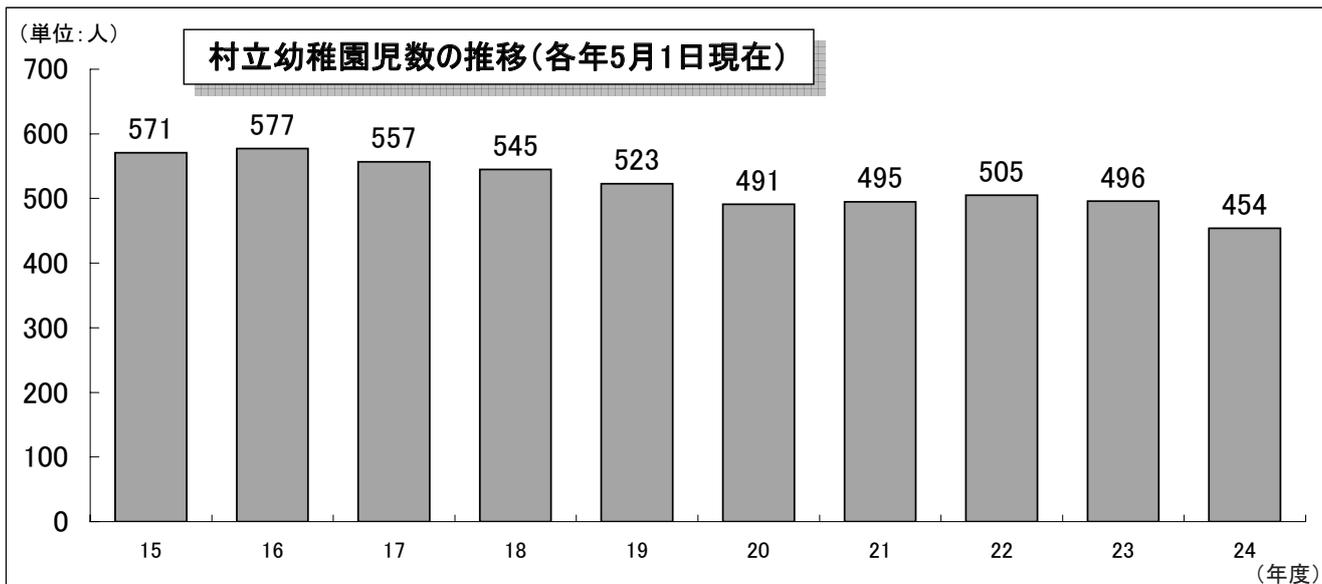
学年 学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	特支	合計
白方小学校	100	102	103	121	109	107	642	14	656
	(4)	(4)	(3)	(4)	(3)	(3)	(21)	(3)	(24)
照沼小学校	18	21	17	23	18	27	124	3	127
	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(6)	(1)	(7)
中丸小学校	90	81	95	95	92	79	532	7	539
	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(2)	(17)	(2)	(19)
石神小学校	55	54	51	54	63	62	339	7	346
	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(12)	(2)	(14)
舟石川小学校	89	93	98	102	120	100	602	3	605
	(3)	(4)	(3)	(3)	(3)	(3)	(19)	(1)	(20)
村松小学校	50	55	45	39	51	44	284	4	288
	(2)	(2)	(2)	(1)	(2)	(2)	(11)	(2)	(13)
計	402	406	409	434	453	419	2523	38	2561
	(15)	(16)	(14)	(14)	(14)	(13)	(86)	(11)	(97)
東海中学校	216	194	202	—	—	—	612	8	620
	(7)	(5)	(6)				(18)	(2)	(20)
東海南中学校	196	176	164	—	—	—	536	8	544
	(6)	(5)	(5)				(16)	(2)	(18)
計	412	370	366	—	—	—	1148	16	1164
	(13)	(10)	(11)				(34)	(4)	(38)

4 園児及び職員数

平成24年5月1日現在

()内数字は学級数

年齢 幼稚園名	3歳児	4歳児	5歳児	合計	教諭 (園長・副園長・主任含む)	講師	介助
村松幼稚園	32	61	75	168	9	3	5
	(2)	(3)	(3)	(8)			
石神幼稚園	16	16	16	48	5	1	0
	(1)	(1)	(1)	(3)			
舟石川幼稚園	16	33	40	89	6	2	2
	(1)	(2)	(2)	(5)			
宿幼稚園	16	7	18	41	5	2	0
	(1)	(1)	(1)	(3)			
須和間幼稚園	16	40	52	108	6	2	4
	(1)	(2)	(2)	(5)			
計	96	157	201	454	31	10	11
	(6)	(9)	(9)	(24)			



村内幼稚園等の幼児の就園状況

平成24年5月1日現在

年齢 幼稚園名	3歳児	4歳児	5歳児	合計
村立幼稚園	96	157	201	454
私立幼稚園	64	78	73	215
村立保育所	53	57	49	159
私立保育所	85	89	85	259
幼児数合計	298	381	408	1,087

中学校卒業生の各年度別進路状況の推移

平成24年5月1日現在

卒業年度 区分	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
卒業生徒	343	285	305	327	304	311	355	383	353	359
国・公立	244	223	212	250	231	243	261	270	260	274
私立	86	53	83	68	67	57	85	107	85	77
国立高等 専門学校	9	5	7	8	5	8	9	5	6	7
就職者	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0
その他	4	2	1	0	1	3	0	1	2	1
進学率(%)	98.8%	98.6%	99.0%	99.7%	99.7%	99.0%	100.0%	99.7%	99.4%	99.7%
県平均(%)	97.1%	97.4%	97.8%	97.9%	—	—	—	—	—	—
全国平均(%)	97.3%	97.5%	97.6%	97.7%	—	—	—	—	—	—

東海村奨学金運営事業の状況

1 奨学生(修学資金)の選考状況

		学校種別(人)					合計 (人)	
		公立 高校	私立 高校	高専 (1~3年)	高専 (4年~)	大学		専修 学校
平成14年度	出願	1	0	1	0	13	2	17
	定員			5		15	5	25
	決定	1	0	1	0	12	2	16
平成15年度	出願	4	0	0	0	13	3	20
	定員			5		15	5	25
	決定	4	0	0	0	13	3	20
平成16年度	出願	0	1	0	0	8	4	13
	定員			5		15	5	25
	決定	0	1	0	0	8	4	13
平成17年度	出願	1	0	0	0	8	1	10
	定員			5		15	5	25
	決定	1	0	0	0	8	1	10
平成18年度	出願	0	0	0	0	14	3	17
	定員			5		15	5	25
	決定	0	0	0	0	14	3	17
平成19年度	出願	3	1	0	0	18	7	29
	定員			5		15	5	25
	決定	3	1	0	0	15	5	24
平成20年度	出願	2	1	0	0	18	3	24
	定員			5			20	25
	決定	2	1	0	0	15	3	21
平成21年度	出願	0	2	0	0	19	2	23
	定員			5			20	25
	決定	0	2	0	0	18	2	22
平成22年度	出願	0	4	0	2	22	2	30
	定員			5			20	25
	決定	0	3	0	1	17	2	23
平成23年度	出願	0	0	0	0	18	3	21
	定員			5			20	25
	決定	0	0	0	0	18	3	21

※ 平成14, 15, 17年度の出願・決定数は、追加及び二次募集分を含む。

2 奨学生(入学準備金)の選考状況

		学校種別(人)				合計 (人)
		私立 高校	高専	大学	専修 学校	
平成20年度	出願	1	0	6	1	8
	定員		5		20	25
	決定	0	0	6	1	7
平成21年度	出願	1	0	9	2	12
	定員		5		20	25
	決定	1	0	9	2	12
平成22年度	出願	0	0	7	2	9
	定員		5		15	20
	決定	0	0	7	2	9
平成23年度	出願	1	0	8	2	11
	定員		5(1)		15(3)	20
	決定	1	0	8	2	11

※ 平成23年度以降の()内は、父子・母子家庭等優先枠

3 修学資金の貸与額

高等学校	国公立	25,000円	高等専門学校	第1～3学年	25,000円
	私立	35,000円		第4学年以上	40,000円
大学	40,000円		専修学校	高等課程	35,000円
				専門課程	40,000円

4 入学準備金の貸与限度額

高等学校	私立	300,000円	高等専門学校	300,000円	
大学	国公立	300,000円	専修学校	高等課程	300,000円
	私立	500,000円		専門課程	500,000円

5 貸付金・返還金の状況

	貸付者数	(内 訳)				貸与額(円)	返還額(円)	差引貸付額(円)
		高校	高専	大学	専門			
平成11年度	34	1		33		10,092,000	5,079,000	5,013,000
平成12年度	37	2		34	1	11,376,000	8,454,000	2,922,000
平成13年度	32	2		29	1	10,380,000	5,561,000	4,819,000
平成14年度	39	2	1	33	3	13,320,000	8,100,000	5,220,000
平成15年度	46	4	1	36	5	15,480,000	6,257,000	9,223,000
平成16年度	45	4		34	7	15,600,000	8,937,000	6,663,000
平成17年度	45	4		36	5	15,600,000	4,698,500	10,901,500
平成18年度	46	2	1	37	6	18,240,000	8,840,500	9,399,500
平成19年度	55	5		40	10	23,700,000	8,672,000	15,028,000
平成20年度	68	5		53	10	29,880,000	9,610,500	20,269,500
平成21年度	76	6		63	7	35,865,000	10,271,750	25,593,250
平成22年度	75	6	1	61	7	34,320,000	13,551,750	20,768,250
平成23年度	83	5	1	69	8	38,900,000	17,010,000	21,890,000

※ 平成20年度以降の貸付者数は、入学準備金分を含む。

6 奨学基金の状況(平成24年3月末現在)

基金総額	234,582,044円
(内訳)貸与額	193,160,000円
(内訳)預金額	41,422,044円

東海村第5次総合計画

平成23年度を初年度とする東海村第5次総合計画を一層深化させ、教育という立場からこれらを推進する「とうかい教育プラン2020」において基本計画を定めました。

とうかい教育プラン2020の基本理念である「“子どもたちと大人たちが共にはぐくみ合い共に育ち成長する教育立村”を目指して」の実現と学校教育の充実に向けて、各種事業を行います。

1 教育立村を実現する質の高い教育行政を推進します

地方における教育行政の中心的な担い手として、「時代の変化に即応した特色ある教育」・「本村の実情に即した教育」を効果的に実施して、「教育立村」を実現します。

東海村教育振興基本計画（とうかい教育プラン2020）に基づく教育施策の実施には、これまで以上に教育委員会の体制の充実が求められます。今後も必要な財政措置を行い、教育が円滑かつ継続的に実施されるよう、その体制の充実や機能の強化に努めながら腰を据えた息の長い取り組みを進めます。

また、すべての村民に対して、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を設けることは、教育委員会の重要な役割のひとつです。そのため、子どもたちが安心して学習できるように、引き続き、特別な支援を要する方に対する教育の充実や、家庭の経済的負担を軽減する取り組みを講じます。

（1）教育委員会の体制の充実に努めます

【施策目標】

- ①教職員研修の充実
- ②教職員の健康管理
- ③小中学校の学区制
- ④幼小中高教育のつながり
- ⑤学校教育の振興
- ⑥教育の向上と教育に関する功労・善行表彰
- ⑦教育委員会の基盤強化

〔主な実施事業〕

（単位：千円）

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	教育振興大会開催事業	永年にわたり、学校教育及び社会教育に献身的努力と多大の功績を挙げられた方々に表彰を行い、本村教育文化の向上発展に寄与する。	762
継続	教育委員会運営事業	定例会(委員5名、年12回)及び臨時会(随時)を行い、会議に付された教育上の重要な課題や懸案事項の審議を行う。	1,870

(2) 教育の機会均等を図るため、村独自の取り組みを進めます

【施策目標】

- ①保護者の経済的負担軽減 ②特別な支援が必要な幼児・児童生徒への教育体制

〔主な実施事業〕

(単位：千円)

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	東海村奨学金運営事業	優良な生徒・学生でありながら、経済的な理由によって修学が困難な人に入学準備金及び修学資金を貸与し、有為な人材を育成する。	15,094
継続	大会参加助成事業	小・中学校部活動に係る東関東地区以上の大会に参加するための費用の一部を助成し、父母の負担軽減を図る。	2,700
継続	就学奨励事業(小学校)	経済的理由で、子どもを小学校に通わせることが困難な家庭の負担を軽減するため、学用品費の一部・給食費・医療費等を給付する。	10,348
継続	就学奨励事業(中学校)	経済的理由で、子どもを中学校に通わせることが困難な家庭の負担を軽減するため、学用品費の一部・給食費・医療費等を給付する。	10,045
継続	ヘルメット購入費助成事業	自転車通学による生徒の安全対策と、保護者の教育費の負担軽減を図るため費用を助成する。	640
継続	就園奨励費補助事業	教育費負担の軽減のため、幼稚園に就園する 3～5 歳児の保護者に対し、所得に応じた保育料の減免を行う。	13,513
継続	私立幼稚園 3 歳児保育料助成事業	私立幼稚園に入園している 3 歳児の保護者の教育費負担を軽減するため、保育料の一部を助成する。	5,040
継続	私立幼稚園運営費補助事業	私立幼稚園の健全な運営及び幼児教育の振興を図るため、運営費の一部を補助する。	3,300

2 「生きる力」をはぐくむ学校教育を実践します

次代を担う子どもたちに必要な力として提唱する「生きる力」をはぐくむため、学校教育・家庭教育・地域教育の連携、学力向上はもとより、きめ細かな学習指導等、村独自の取り組みにより、変化する社会に対応できる“知（確かな学力）・徳（豊かな人間性）・体（健康・体力）”のバランスの取れた教育を実現します。

情報化の進展を踏まえて、子どもたちが情報を取捨選択して活用する能力や、それに伴う課題に対処する力を養います。また、科学技術の発展に対応した教育の取り組みによって、国際理解と国際感覚を養い、子どもたちが将来にわたって多文化共生できる環境づくりを進めていきます。

学校給食においては、地元産食材を取り入れ、より安全安心な食材の提供に努めるとともに、ふるさとの農業や食材に対する児童生徒の関心を高めていきます。また、次代を担う子どもたちの健やかな育ちを支える健康と体力づくり、健全な食生活を実践できる子どもを育てる“食育”を推進します。

（1）確かな学力を育成します

【施策目標】

- ①学ぶ意欲の向上 ②基礎・基本の定着
- ③言語活動の充実 ④問題解決的・体験的な活動を通じた学習

〔主な実施事業〕

（単位：千円）

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	少人数学級運営事業	子どもの個性を伸ばし、確かな学力と豊かな人間性を育むため、担任の目が行き届くよう学級編成を30人以下とする学級編成を小学校1・2年生に導入する。これに伴い、村独自で教員を雇用し事業を実施する。	40,307

（2）社会の変化に対応した新しい時代にふさわしい教育を進めます

【施策目標】

- ①国際理解教育と科学技術の発展に対応した教育

〔主な実施事業〕

（単位：千円）

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	小学校コンピュータ機器整備運用事業	高度情報通信ネットワーク社会が進展していく中で、コンピュータやインターネットを活用し、情報社会に対応できる「情報活用能力」を育成する。	37,029
継続	中学校コンピュータ機器整備運用事業	高度情報通信ネットワーク社会が進展していく中で、コンピュータやインターネットを活用し、情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を育成する。	14,710

(3) 幼児期の教育の充実を図ります

【施策目標】

- ①幼児期にふさわしい教育 ②幼稚園と保育所の一体化（一元化）

〔主な実施事業〕

（単位：千円）

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	預かり保育事業	子育て支援の一環、保護者の急用・冠婚葬祭等の対応を目的として、各幼稚園にて、降園後から5時まで1人1回300円で実施する。※受付は各幼稚園にて随時	1,323
継続	ひよこクラブ運営事業(村松幼稚園)	就園前3歳児の親子を対象に、同年齢の幼児同士の触れ合い、親子の触れ合い、また保護者同士の仲間づくりを支援し、地域に開かれた幼稚園づくりを進める。	53
継続	なかよクラブ運営事業(石神幼稚園)	就園前3歳児の親子を対象に、同年齢の幼児同士の触れ合い、親子の触れ合い、また保護者同士の仲間づくりを支援し、地域に開かれた幼稚園づくりを進める。	14
継続	わんぱくクラブ運営事業(舟石川幼稚園)	就園前3歳児の親子を対象に、同年齢の幼児同士の触れ合い、親子の触れ合い、また保護者同士の仲間づくりを支援し、地域に開かれた幼稚園づくりを進める。	32
継続	わくわくクラブ運営事業(宿幼稚園)	就園前3歳児の親子を対象に、同年齢の幼児同士の触れ合い、親子の触れ合い、また保護者同士の仲間づくりを支援し、地域に開かれた幼稚園づくりを進める。	13
継続	のびのびクラブ運営事業(須和間幼稚園)	就園前3歳児の親子を対象に、同年齢の幼児同士の触れ合い、親子の触れ合い、また保護者同士の仲間づくりを支援し、地域に開かれた幼稚園づくりを進める。	25

(4) 子どもたちがたくましく生きるための健康や体力づくりを進めます

【施策目標】

- ①体力を高める教育 ②学校保健 ③学校給食の提供
④学校における食育 ⑤家庭や地域における食育

〔主な実施事業〕

（単位：千円）

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	就園就学事業	学校保健安全法に基づき、就園児・就学児の健康状態を把握するため、健康診断を実施する。	449
継続	健康診断事業	学校保健安全法に基づき、幼児・児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、健康診断を実施する。	10,521
継続	学校保健衛生事業	学校保健安全法に基づく環境衛生検査、事後措置及び日常における環境衛生管理等を適切に行い、学校環境衛生の維持・改善を図る。	2,440
継続	小学校給食運営管理事業	成長期にある児童の心身の健全な発達に資するため、食事環境及び給食施設設備の整備・充実を図り、学校給食の円滑な運営管理を行う。	24,230
継続	中学校給食運営管理事業	成長期にある生徒の心身の健全な発達に資するため、食事環境及び給食施設設備の整備・充実を図り、学校給食の円滑な運営管理を行う。	11,925
継続	学校給食事業	学校給食の円滑な運営管理を図るため、給食関係職員の資質向上、適切な衛生管理を行う。	3,826

3 安全で安心して学べる施設の充実を図ります

子どもたちがより良い環境の中で学校生活を送れるよう、学校設備や機能の充実を進め、施設の適切な運営管理を行います。また、公立学校施設整備計画（耐震化年次計画）に基づく、学校施設の建て替えや耐震化・改修工事等を行い、安心して学べる教育環境の整備に努めます。

(1) 学校施設の適切な運営管理に努めます

【施策目標】

- ①幼稚園・小中学校の運営 ②幼稚園・小中学校の管理と改修

〔主な実施事業〕

(単位：千円)

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	小学校運営管理事業	各小学校における児童の教育環境の充実を図るため、施設や設備の維持管理を行う。	67,519
継続	中学校運営管理事業	各中学校における生徒の教育環境の充実を図るため、施設や設備の維持管理を行う。	17,965
継続	幼稚園運営管理事業	各幼稚園における幼児教育環境の充実を図るため、施設や設備の維持管理を行う。	65,457
継続	小学校施設管理事業	児童が快適な学校生活を送れるよう適切な管理を行う。	23,865
継続	中学校施設管理事業	生徒が快適な学校生活を送れるよう適切な管理を行う。	8,134

(2) 学校施設の整備と改築を進めます

【施策目標】

①幼稚園・小中学校の耐震化と改築

〔主な実施事業〕

(単位：千円)

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	小学校施設整備事業	児童が快適な学校生活を送れるように各小学校の補修・修繕工事などを計画的に行う。	67,861
継続	中学校施設整備事業	生徒が快適な学校生活を送れるように各中学校の補修・修繕工事などを計画的に行う。	34,330
継続	幼稚園施設整備事業	園児が快適な幼稚園生活を送れるように各幼稚園の補修・修繕工事などを計画的に行う。	45,048
継続	照沼小学校建設計画検討委員会運営事業	照沼小学校の建設を円滑に推進するため、設計、建設工事などの進捗状況について調査および検討を行う。委員会は、地域住民、学校関係者および有識者で組織し、必要に応じて開催する。	177
継続	照沼小学校建設事業	昭和 37 年に建設された照沼小学校の改築を行い、教育・生活機能面の改善、環境性能や防犯性の向上、耐震性・安全性の確保を図る。	1,273,340
継続	中丸小学校建設計画検討委員会運営事業	中丸小学校の校舎建設を円滑に推進するため、設計、建設工事などの進捗状況について調査および検討を行う。委員会は、地域住民、学校関係者および有識者で組織し、必要に応じて開催する。	216
継続	中丸小学校建設事業	昭和 45 年に建設された中丸小学校の改築を行い、教育・生活機能面の改善、環境性能や防犯性の向上、耐震性・安全性の確保を図る。今年度は、校舎建設工事に向けた基本・実施設計を行う。	62,773
継続	東海中学校建設事業	昭和 40 年に建設された東海中学校の改築を行い、教育・生活機能面の改善、環境性能や防犯性の向上、耐震性・安全性の確保を図る。今年度は、校舎建設工事に向けた基本・実施設計を行う。	110,333

指 導 室

指導室の運営

とうかい教育プラン2020の基本理念である「子どもたちと大人たちが共にはぐくみ合い共に育ち成長する教育立村」を目指して」の実現と学校教育の充実に向けて、各種事業を行います。

平成17年度学校運営推進委員会小中連携部会作成の『できる やります 東海の子 ーあいさつ 清掃 自主学习ー』を小中学校の教職員が、継続指導する共通項目として質の高い学校教育が実現できるよう研修や訪問指導を行います。

1 教育立村を実現する質の高い教育行政を推進します

(1) 教育委員会の体制の充実に努めます

【施策目標】

- ①教職員研修の充実 ②幼小中高教育のつながり
- ③学校教育の振興 ④教育委員会の基盤強化

〔主な実施事業〕

(単位：千円)

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	教員派遣研修助成事業	外国における教育・文化・社会等の実情について調査研究し、国際的視野に立った見識を高めるため、小中学校の教職員を諸外国に派遣する。	820
継続	教職員研修事業	教職員の資質並びに指導力の向上を図る。特に、今年度からは若手教員研修を実施し、採用3年目までの教員の指導力の向上を図る。	150
継続	東海村教育研究会活動費補助事業	地域や各学校の抱える課題研究や、教育に関する事業並びに実践教育を実施している教育研究会に補助する。	1,500

(2) 教育の機会均等を図るため、村独自の取り組みを進めます

【施策目標】

- ①特別な支援が必要な幼児・児童生徒への教育体制

〔主な実施事業〕

(単位：千円)

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	就学指導委員会運営事業	子どもの障がいの状態や発達段階及び特性に応じて、適切な就学指導を行う。	311
継続	生活指導員設置事業	障がいのある児童生徒が、自己の持つ能力や可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加できるよう、担任とチームを組んで個に応じた指導を行う。	52,836
継続	発達支援センター運営事業	村内在住の情緒、言語障がいのあるまたはその疑いのある幼児・児童生徒などを対象に、療育指導などの教育的な支援を行うとともに、その保護者には継続的な援助、助言をすることで、よりよい発達への支援を図る。	9,891

2 「生きる力」をはぐくむ学校教育を実践します

次代を担う子どもたちに必要な力として提唱する「生きる力」をはぐくむため、学校教育・家庭教育・地域教育の連携、学力向上はもとより、きめ細かな学習指導等、村独自の取り組みにより、変化する社会に対応できる“知（確かな学力）・徳（豊かな人間性）・体（健康・体力）”のバランスの取れた教育を実現します。

幼稚園、小・中学校においては、これまで以上に子どもが自然と接する体験活動の機会や、人と触れ合い対話する機会を意識的に創出し、学校や地域の特色を活かした教育活動を進めていきます。

情報化の進展を踏まえて、子どもたちが情報を取捨選択して活用する能力や、それに伴う課題に対処する力を養います。また、科学技術の発展に対応した教育の取り組みによって、国際理解と国際感覚を養い、子どもたちが将来にわたって多文化共生できる環境づくりを進めていきます。

良識ある人間像を目指した道徳教育、社会人としての自立を目指したキャリア教育を進め、他人とともに協調し、人格や個性の違いを認め合いながら、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を養います。

（1）確かな学力を育成します

【施策目標】

- ①学ぶ意欲の向上
- ②基礎・基本の定着
- ③言語活動の充実
- ④スタディ・サポーターを活かした学習
- ⑤問題解決的・体験的な活動を通じた学習

〔主な実施事業〕

（単位：千円）

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	スタディ・サポーター設置事業	生徒の学習意欲を引き出すとともに、基礎的な学習内容の理解を高めるため、ティーム・ティーチングを行う。※実施科目：中学校 数学、英語、理科、国語、社会。	54,479
継続	学校図書館指導員設置事業	児童生徒の日常生活における読書活動を推進するとともに、学校図書館活用を促進するため、図書館の企画運営や資料整理、読書会などを行う。小中学校全校に配置している。	21,780

(2) 地域の特徴や豊かな自然環境を生かした教育を進めます

【施策目標】

- ①特色ある教育活動 ②社会人講師を活かした学習

〔主な実施事業〕

(単位：千円)

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	マイスクール推進事業	各小・中学校ごとに企画提案型事業を実施し、特色ある教育活動と地域との連携を強化した教育活動を推進する。	1,529
継続	社会人講師活用事業	公立幼稚園と全小中学校を対象に、教諭だけでは指導できない専門的分野について、地域の人材を社会人講師として活用し、教育活動の多様化と質の向上を図る。	1,237

(3) 社会の変化に対応した新しい時代にふさわしい教育を進めます

【施策目標】

- ①国際理解教育と科学技術の発展に対応した教育

〔主な実施事業〕

(単位：千円)

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	外国語指導講師(NLT)運営事業	小学校においては英語に慣れ親しむ活動を中心に、中学校においてはコミュニケーション活動を中心とした実践的な英語能力を高めることを目的に、村内全小中学校に外国語指導講師(NLT)を配置し、実践的な英語教育を行っている。(平成23年度から、全小学校で教育課程特例校の指定を文部科学大臣から受けている。)	34,050

(4) 豊かな心と人間性を養う教育を進めます

【施策目標】

- ①感性や創造性の育成 ②体験学習とキャリア教育 ③カウンセリングや生徒指導
④道徳教育 ⑤いじめ・不登校への対応

〔主な実施事業〕

(単位：千円)

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	教科特別指導員設置事業	音楽、図工、理科の学習指導を行い、教科指導の充実を図るため、教科担任とのティーム・ティーチングを行う。また、ICT指導員を活用し、コンピュータを活用した授業を計画するとともに、ホームページの充実により各学校の取り組みを校外へ発信する。	13,571
継続	立志式開催事業	中学2年生一人一人が「立志の年」の意義を自分のこととして自覚し、お互い切磋琢磨し、協力し合って「人としての在り方・生き方」を考える契機とするため、立志式を開催する。	300
継続	スクールカウンセラー設置事業	心理的に不安定な児童生徒や保護者へカウンセリングを行い、いじめや不登校児童生徒の問題行動などの対応について助言・指導を行う。	6,400
継続	心の居場所づくり推進事業	不登校児童生徒に対して、集団生活の適応を促進させ、自立心や対人関係能力の向上を図り、学校への復帰を援助する。	9,347

(5) 幼児期の教育の充実を図ります

【施策目標】

- ①幼児期にふさわしい教育 ②幼稚園と保育所の一体化（一元化）

〔主な実施事業〕

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	幼稚園教育研究会運営事業	地域や各幼稚園の抱える課題について研究し、幼稚園教諭の資質向上を目的に活動している研究会に対し、活動費を助成する。	63

3 学校・家庭・地域が相互に連携協力し、社会全体で教育の向上に取り組みます

「のびのびと正しく、瞳かがやく青少年を育てるまち」を宣言する村として、学校・家庭・地域住民の役割と責任を見つめ直し、相互に連携協力して子どもたちを育て、見守る社会を実現します。

学校教育の面からは、東海村の土地の様子や産業、歴史等を学ぶための郷土資料の作成を行い、子どもたちにふるさとを学ぶ機会を提供します。

(1) 郷土理解の促進を図ります

【施策目標】

- ①郷土資料の活用

〔主な実施事業〕

(単位：千円)

種別	事業名	事業内容	H24 予算
継続	のびゆく東海発行事業	小学生の郷土学習の資料として「のびゆく東海」を発行し、学習内容の充実を図る。(3年に一度発行:平成24年度は発行年)	1,044
継続	郷土東海発行事業	中学生の郷土学習の資料として「郷土東海」を発行し、学習内容の充実を図る。(3年に一度発行:平成24年度は発行年)	1,260

生涯學習

社会教育事業の概要

生涯学習課では、東海村第5次総合計画の教育分野の政策目標である「生涯にわたって学習することができ、その成果を生かせるまち」の実現に向けて、各種事業を展開していきます。

今年度は、平成22年度に策定した「とうかい教育プラン2020」に基づき、社会教育の振興を推進していきます。

1 学校・家庭・地域が相互に連携協力し、社会全体で教育の向上に取り組めます

「のびのびと正しく、瞳かがやく青少年を育てるまち」を宣言する村として、学校と家庭、地域住民の役割と責任を見つめ直し、相互に連携協力することで、一丸となって子どもたちを育て・見守る社会を実現します。

学校と家庭、地域住民の相互連携によって、豊かな心と体を持つ健やかな青少年をはぐくむ体制の充実を図ります。家庭における子どもの教育には、社会規範の再構築とともに、いかにして子どもたちに生活習慣を身に付けさせ、人格形成をしていくかが問われています。そのため、家庭の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会や情報を提供するとともに、学校や地域とも連携協力しながら、家庭の教育力の向上を支援します。

大人と子どもとの交流や、異なる世代間による交流の機会などが後退することは、地域における教育力の低下に直結するものと考えます。そのため、地域の教育力の変化に応じ、学校や家庭とも連携協力しながら、社会全体で子どもたちをはぐくみます。また、村の歴史や自然に子どもたちがじかに触れ、ふるさとを学ぶ機会を提供することで、子どもたちの愛郷心をはぐくみます。

(1) 青少年健全育成のための体制充実を図ります

【施策目標】

- ① 青少年の健全な育成計画 ② 相談体制の維持 ③ 青少年の非行化防止

〔主な実施事業〕

(単位:千円)

種別	事業(行事)名	事業(行事)内容	H24 予算
継続	青少年相談員運営事業	巡回等を通して青少年の健全育成と非行化防止を図るとともに、研修等に積極的に参加し、資質の向上を図り、青少年自身や保護者からの相談に応じることができる体制の拡充を図る。	5,279
継続	夏期特別巡回指導事業	夏休みを中心として、特別巡回指導を実施し青少年の非行化防止を図る。また、7月から9月の特に夏休み期間において警備会社に委託して、午後10時以降に中央公民館、体育館、図書館、駅舎等の巡回を行う。	845
継続	青少年問題協議会運営事業	学校・家庭・地域が有機的に連携を図れるような体制整備に努める。	49
継続	青少年団体行事カレンダー発行事業	各青少年関係団体等で実施される事業について、各団体間において相互に予定を把握することで、重複を防ぎ、より充実した学習機会の提供を推進するため、各団体の事業状況が掲載された行事カレンダーを発行する。	53
継続	青少年宣言推進事業	「のびのびと正しく、瞳かがやく青少年を育てるまち」宣言に基づく「毎週土曜日はテレビの声より家族の声」「2歳まではテレビを消してみませんか」運動を継続して推進する。	518
継続	青少年カウンセラー設置事業	青少年カウンセラーによる面接相談を実施し、相談体制の推進を図る。	2,000
継続	青少年センター運営協議会運営事業	青少年が主体的に諸活動に参加し、進んで自己の役割を円滑に果たすことができるよう、青少年のニーズや環境の変化を的確に把握し、施策に反映させ、青少年センターの機能充実を努める。	98

(2) 家庭の教育力の向上を支援します

【施策目標】

- ①家庭における教育力の向上 ②家庭教育に関する情報提供

〔主な実施事業〕

(単位:千円)

種別	事業(行事)名	事業(行事)内容	H24 予算
継続	親子ふれあい劇場開催事業	親子で一緒に人形劇や紙芝居等を見ることで、豊かな心の育成及び親子の対話の促進を図る。	360
継続	家庭教育促進事業	保護者自身が家庭教育の重要性について認識を深めることを目的に、幼稚園PTAと連携して学習機会や交流会を各幼稚園で実施する。	161

(3) 地域の教育力の向上を図ります

【施策目標】

- ①地域における教育力の向上 ②指導者育成と確保 ③小・中・高校生のリーダーの育成

〔主な実施事業〕

(単位:千円)

種別	事業(行事)名	事業(行事)内容	H24 予算
継続	花いっぱい運動事業	公募により申込みのあった団体へ花苗、球根を配布し、植栽及び管理をさせる。	370
継続	やったん祭補助事業	青少年及び青少年育成団体による、青少年のためのお祭りであり、青少年及び青少年育成団体の連帯感を深めるとともに、相互の交流を図り、10年後、20年後のまちづくりを実践していく青少年を健全に育成することを推進する。	1,100
継続	青少年育成村民会議補助事業	青少年の健全育成を図るため、学校・家庭・地域が有機的な連携体制の整備に努めるため、いっそう連携強化及び地域の教育力向上を図る。	4,591
継続	青少年健全育成活動者等研修助成事業	青少年の自主性の育成や社会参加意識の醸成を図るとともに、地域青少年活動リーダーの要請と確保に努める。	50
継続	子ども会育成連合会補助事業	子ども会育成連合会の活動を支援することで、小・中・高校生リーダー及び青少年育成者の養成を推進する。	1,079
継続	青年会補助事業	青年会の活動を支援することで、青少年育成者の養成を推進する。	136
継続	高校生会補助事業	高校生会の活動を支援することで、高校生リーダーの養成を推進する。	104
継続	小中学校PTA連絡協議会補助事業	小中学校PTA連絡協議会の活動を支援することで、学校と家庭が連携協力を図り、地域の教育力向上を推進する。	78
継続	幼稚園PTA連絡協議会補助事業	幼稚園PTA連絡協議会の活動を支援することで、学校と家庭が連携協力を図り、地域の教育力向上を推進する。	44

(4) 郷土理解の促進を図ります

【施策目標】

- ①郷土理解と愛郷心の醸成 ②新成人による成人式の企画・運営

〔主な実施事業〕

(単位:千円)

種別	事業(行事)名	事業(行事)内容	H24 予算
継続	ふるさと再発見事業	郷土の伝統文化や財産を掘り起こし、情報提供することで郷土の良さを見直す。郷土の昔話や伝説を題材にした民話紙芝居を制作する。	400
継続	成人式開催事業	成人者で構成する成人式実行委員会を組織し、成人式典の企画及び運営を行う。成人としての自覚と自立を促し、人生の新たな一歩を踏み出す契機とする。	694

2 心豊かな人をはぐくむ社会教育の推進を図ります

心豊かな人をはぐくむために、誰もが、いつでも、どこでも自由に学ぶことができるような社会を実現していきます。

学習に対する住民ニーズの把握や関係機関、団体等との連携強化に努め、学習機会の提供と支援を行い社会教育の推進を図ります。

地域の特徴ある歴史、文化、動植物など地域の文化財産を住民の自主的な教育活動や文化的向上に繋げ次世代へ引き継ぎます。住民が生涯にわたり健康で生きがいに満ちた生活を送ることができるよう生涯スポーツの意識啓発を図るとともに、その機会の提供に努めます。

(1) さまざまな学習とその成果を発表する機会の充実に努めます

【施策目標】

- ①学習情報の提供 ②学習機会の提供

〔主な実施事業〕

(単位:千円)

種別	事業(行事)名	事業(行事)内容	H24 予算
継続	中央公民館講座開催事業	村民の学習意欲や時勢のニーズを踏まえた講座を企画し、毎月募集をする。	2,637
継続	人権教育講演会の開催	人権についての正しい理解や認識を深める機会を提供するため、住民を対象に人権をテーマとした講演会を開催する。	50
継続	生涯学習ボランティアバンク	学習の機会を求めている住民と学習成果の発表の場を求めている住民の双方をコーディネートする。人材情報は村公式ホームページで閲覧できる。	0

(2) 文化芸術活動を支援し、その振興を図ります

【施策目標】

- ①住民の芸術文化活動の活性化 ②文化芸術団体の育成

[主な実施事業]

(単位:千円)

種別	事業(行事)名	事業(行事)内容	H24 予算
継続	文化協会補助事業	住民自らが芸術・文化をより身近なものに感じられるよう、村内芸術団体の自主的な活動を支援する。	3,226
継続	文化保存・自然保護活動支援補助事業	村の文化の保存又は自然の保護に関し、公益的に意義のある事業を新たに創出し、活動しようとする者に対して事業費を補助する。	500
継続	東海音頭保存会補助事業	小中学生、自治会等への指導、各種イベントでの普及、後継者の育成等を行う活動を支援する。	332
継続	文化祭開催事業	村民のための手作り文化祭を目指し、文化祭を運営する文化祭実行委員会に対する補助金の交付及び会場の設営管理行う。	9,464
継続	少年少女合唱団運営事業	定期演奏会、練習、研修を実施するとともに、東海村文化祭、茨城県合唱祭、地域事業へ参加します。	1,710

(3) 文化財の保存と活用を図ります

【施策目標】

- ①文化財に関する情報の提供 ②文化財の保存と有効活用
 ③埋蔵文化財の保護と開発との調整 ④文化財に親しむ機会の提供

[主な実施事業]

(単位:千円)

種別	事業(行事)名	事業(行事)内容	H24 予算
継続	自然調査事業	調査会(植物、動物、地史・古生物部門)を立ち上げて、原研構内の自然調査等の「東海村の自然」追跡調査を実施している。自然保護団体や住民と協働し自然保護啓発活動を行っている。	230
継続	文化財保護審議会運営事業	東海村の文化財について、指定文化財に関する調査・審議・建議、その他文化財の保護・保存・活用について審議する。	393
継続	埋蔵文化財発掘調査事業	埋蔵文化財の有無の調査や埋蔵文化財に関する事務手続きを行い、埋蔵文化財の保存、文化財保護と開発との調整の円滑化を図る。	4,182
継続	文化財保護・啓発事業	村内には、数多くの文化財が残されている。このため、文化財マップや案内板の設置、指定文化財の所有者への報奨金交付などを行い、文化財保護に対する理解、意識の高揚を図る。	642
継続	文化財保護事業費補助事業	村内の文化財の所有者等に対し、その維持管理に要する費用の一部を補助することにより文化財の保護・活用を促進する。 対象:国登録有形文化財、県指定文化財、村指定文化財 今年度予定:照沼家住宅主屋(国登録有形文化財)	1,387

(4) スポーツ活動に関する機会の提供に努めます

【施策目標】

- ①スポーツ活動に関する情報の提供 ②スポーツ活動に関する相談・連携体制の維持
 ③スポーツ活動の指導者の養成・確保 ④スポーツ関係団体の自主的な運営への支援

[主な実施事業]

(単位:千円)

種別	事業(行事)名	事業(行事)内容	H24 予算
継続	地域スポーツ指導者学校派遣事業	中学校部活動へ体育協会より指導者を派遣し、スポーツを通じた青少年健全育成、競技力の向上ならびに教員への指導方法の支援を図る。	1,277
継続	スポーツ少年団補助事業	東海村スポーツ少年団本部を支援し、東海村スポーツ少年団の普及・育成・活動の活発化を図ることにより青少年のスポーツ振興・心身の健全育成に資する。	2,200
継続	総合型地域スポーツクラブ補助事業	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも各自の趣味・目的に応じてスポーツに親しめる社会の実現に向けて、総合型地域スポーツクラブ「スマイル TOKAI」の支援を行う。	1,500
継続	スポーツ推進委員会運営事業	スポーツに関する研究大会、会議、講習会等への参加、スポーツ関係団体主催事業への協力、スポーツ教室等の企画・運営、広報活動等を行う。	2,467
継続	体育協会補助事業	各種競技大会、総合体育大会の開催など地域に根ざした活動を行う東海村体育協会を支援する。	6,739

3 安全で安心して学べる施設の充実を図ります

学校施設や社会教育施設は地域防災拠点としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要です。そのため、住民が安全で安心して学べる施設となるように、建物の耐震化と施設整備を計画的に進めるとともに、適切な運営管理を行います。

生涯学習に対する住民ニーズを的確に把握し、学習とその成果の発表の場となる施設の整備充実を図ります。

(1) 社会教育施設の整備充実を図ります

【施策目標】

- ①社会教育施設の管理と改修 ②学校施設・設備の開放 ③久慈川河川敷運動場の整備

[主な実施事業]

(単位:千円)

種別	事業(行事)名	事業(行事)内容	H24 予算
継続	中央公民館維持管理事業	東海村中央公民館利用者が、安全に安心して施設を利用できるよう維持管理を行う。	6,630
継続	文化センター施設管理事業	指定管理者制度を導入し、(財)東海村文化・スポーツ振興財団に施設の管理・運営を委託している。委託期間(H23～27年度)	89,250
継続	文化センター施設改修事業	文化センターは、昭和52年にオープンし、イベント・企画等により芸術・文化の発信に大きく寄与してきたが、機械の老朽化や内装の経年劣化が進んでいることから、計画的な改修を実施する。また、震災の影響により閉鎖している会議棟の平成25年度耐震補強工事に向け、設計を委託する。	10,039
継続	駅コミュニティ施設管理運営事業	指定管理者制度を導入し、(財)東海村文化・スポーツ振興財団に施設の管理・運営を委託している。委託期間(H23～27年度)	35,068
継続	スポーツ施設管理運営事業	指定管理者制度を導入し、(財)東海村文化・スポーツ振興財団に施設の管理・運営を委託している。委託期間(H23～27年度)	88,427
継続	学校開放促進事業	年度当初に調整会議を開催し、地域の人々が、日常生活の中でスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるよう、学校体育施設を計画的に開放し、生涯スポーツの振興を図る。	44

青少年関係機関団体活動概要

青少年相談員連絡協議会

定例会(毎月第3金曜日)・研修会・広報「ひびき」発行・学校訪問(各学区年2回)
街頭指導(月4回)・青少年相談受付(随時)・電話相談(毎週金・土曜日)・電話相談研修会
東海まつり街頭指導・やったん祭協力・県相談員研修会 他

子ども会育成連合会(村子連)

村子連指導者育成者研修会・村子連リーダー研修会(4・5・6年生の部)
村子連親睦球技大会
県子連育成者研修会・やったん祭
広報紙発行・東海まつり協力

高校生会

レクリエーション指導(随時)・春季研修会・夏季研修会・子ども会活動への企画・協力
やったん祭・東海まつり・村子連親睦球技大会協力・高校生リーダーセミナー・街頭募金活動
各種事業への協力

青年会

子ども対象事業・やったん祭・ふれあい福祉まつり・各種研修会の実施及び参加
定期清掃

幼稚園PTA連絡協議会

指導者研修会・会報発行

小・中学校PTA連絡協議会

指導者研修会・先進地視察研修・女性ネットワーク委員会

青少年育成東海村民会議

自然体験学習の旅、ふるさと少年教室、母と子のサロン、ちびっ子集まれの実施、やったん祭参加
地域ふれあい行事・会報発行

東海村の文化財

1. 国の登録有形文化財

(平成24年4月1日現在)

名称	数量	登録番号	登録年月日	所有者	所在地
てるぬまけじゆうたくおもや 照沼家住宅主屋	1棟	08-222号	平成19年7月31日	個人	照沼23

2. 県指定文化財

(平成24年4月1日現在)

種別	名称	数量	指定番号	指定年月日	所有者	所在地
有形文化財	考古資料 じんぶつはにわ 人物埴輪	1軀	考第14号	平成6年1月26日	東海村	船場768
	絵画 けんぼんちやくしよくしやうとくだいしえでん 絹本着色聖徳太子絵伝	1幅	絵第76号	平成18年11月16日	願船寺	石神外宿1047

3. 村指定文化財

(平成24年4月1日現在)

種別	名称	数量	指定番号	指定年月日	所有者	所在地
有形文化財	考古資料 ちやくとう みわだま 直刀 および三輪玉	直刀 1 三輪玉 8	第2号	昭和56年2月25日	東海村	船場768
	同 ぶじんはにわ 武人埴輪	1	第6号	昭和59年3月10日	東海村	船場768
	同 どぐう 土偶	1	第7号	昭和59年3月10日	個人	村松2304
	同 かまつまいせき しやつどいぶつ 釜付遺跡出土遺物	手捏土器 77 剣形品 196 有孔円盤 126 勾玉 4 白玉 2 青銅製儀鏡 2 鉄刀 1 土師器 55	第21号	平成14年7月1日	東海村	船場768
	歴史資料 じやうしやうはんだごしよだいにんぐうえんぎ 常州埴田五所大神宮縁起・ はんだじんぐうねんちゆうぎやうじならびにまつしやき 埴田神宮年中行事并末社記	1	第12号	昭和61年3月5日	豊受皇大神宮	白方662-1
民俗文化財	有形 じゆうおうぞう だつえい ぼ 十王像および奪衣婆	十王像 10 奪衣婆 1	第8号	昭和59年3月10日	如意輪寺	照沼55-1
	同 だんじよぞくたいざぞう 男女俗体坐像	2	第9号	昭和59年3月10日	如意輪寺	照沼55-1
	同 しやうきれいじんえま 鐘馗霊神絵馬	1	第11号	昭和59年3月10日	虚空蔵堂	村松8
	同 れいげんぼく 霊験木	木片 1枚 附銭 53枚 頭髮少量	第20号	平成6年3月8日	虚空蔵堂	村松8
記念物	史跡 ごんげんやま ごふん 権現山古墳	1	第13号	昭和61年3月5日	個人	村松943-1, 2
	同 べつとうやま ごふん 別当山古墳	1	第14号	昭和61年3月5日	個人	石神外宿1208-1
	同 みとはつけい むらまつせいらん ひ 水戸八景「村松晴嵐」の碑	1	第22号	平成14年7月1日	東海村	村松135
	同 ふなつかごふんぐん ごうふん 舟塚古墳群2号墳	1	第23号	平成20年12月24日	個人	村松1221-8, 1221-9の一部
	天然記念物 じやういりんじ 如意輪寺の常緑常葉樹	スダジイ 2 タブノキ 2	第3号	昭和58年4月20日	如意輪寺	照沼54, 57
	同 がんせんじ 願船寺のイチヨウ	1	第4号	昭和58年4月20日	願船寺	石神外宿1047
	同 すみよしじんじや 住吉神社のサカキ	1	第5号	昭和58年4月20日	住吉神社	石神外宿1097
	同 エノキ	1	第15号	平成元年3月6日	個人	石神外宿429-2
	同 カヤ	1	第16号	平成元年3月6日	個人	須和間53-1
	同 モチノキ	1	第17号	平成元年3月6日	個人	石神内宿1427
同 ヤマザクラ	1	第18号	平成元年3月6日	個人	村松943-1	

4. 東海村「ふるさとの自然・文化」登録文化財

(平成24年4月1日現在)

登録番号	樹木名	数	所在地	備考
1	キリシマツツジ	1	村松 727	
2	カヤ	2	村松 727	
3	キリシマツツジ	1	舟石川 552-5	
4	キンモクセイ	1	石神外宿 815	
5	石神社のスギ(北側)	1	石神外宿 1	石神社
6	石神社のスギ(西側)	1	石神外宿 1	〃
7	ケンポナン	1	石神外宿 832	
8	サツキ(笑い獅子)	1	石神外宿 815	
9	オリーブ	1	舟石川 787-16	
11	ヤブツバキ	1	石神外宿 815	
12	ホオノキ	1	村松 2138	
13	ヤマザクラ	1	村松 2012-1	
14	スギ	1	須和間1	住吉神社
15	クヌギ	1	村松 2040-4	
17	クヌギ	1	須和間 1245-1	
18	ヤマザクラ	1	須和間 1246-2	
19	エノキ	1	村松 2633-1	
20	モミジ	1	須和間 440	須和間幼稚園
21	シラカシ	1	須和間 589	
22	アカガシ	1	須和間1	住吉神社
23	サカキ	1	須和間1	〃
24	アカガシ	1	須和間1	〃
25	ヒイラギ	1	亀下 304	
26	クロマツ(みこしの松)	1	豊岡 450	
27	クロマツ	1	豊岡 450	
28	ケヤキ	1	亀下 126	
30	スギ(幹まがり杉)	1	村松 1624-1	
31	エゾヤマザクラ	1	村松 1370-2	
32	スダジイ	1	村松 4-45	阿漕ヶ浦クラブ
33	エノキ	1	村松 4-45	〃
34	セイヨウシヤクナゲ	1	石神内宿 2248-5	
35	ヒサカキ	1	豊岡 1702-8	
36	ヤマザクラ	1	船場 616-4	
37	オオシマザクラ	1	須和間 1305-1	
38	ナツグミ	1	照沼 869-1	

※10, 16, 29 は登録解除のため欠番。

5. 埋蔵文化財発掘調査報告書

No.	発行年	名 称	発 行 元
1	1955	常陸國村松村の古代遺蹟	村松村教育委員会
2	1969	東海村須和間埋蔵文化財緊急調査報告書	東海村教育委員会
3	1972	常陸須和間遺跡	雄山閣出版
4	1977	小澤野遺跡調査概報	東海村教育委員会
5	1978	小澤野 -茨城県東海村須和間地区における古代集落の研究-	〃
6	1978	部原遺跡調査報告書	〃
7	1982	常陸部原遺跡	〃
8	1983	常陸馬頭根竈址	〃
9	1983	茨城県教育財団文化財調査報告第 23 集 二本松古墳・石神外宿 A・B 遺跡	(財)茨城県教育財団
10	1983	東海村平原遺跡調査報告	東海村教育委員会
11	1986	東海村の遺跡(埋蔵文化財包蔵地分布調査報告書)	〃
12	1986	常陸釜付祭祀遺跡	〃
13	1987	平原	〃
14	1987	茨城県御所内遺跡	〃
15	1988	須和間 12 号墳の調査	〃
16	1989	石神城跡 -茨城県那珂郡東海村所在中世城跡の調査(1 次調査)-	〃
17	1990	常陸部原古墳	〃
18	1991	平原 B 貝塚 -茨城県那珂郡東海村縄文貝塚の調査-	〃
19	1991	石神城跡 -茨城県那珂郡東海村所在中世城跡の調査(2 次調査)-	〃
20	1992	石橋向 B・C 遺跡 -茨城県那珂郡東海村所在古代集落址-	〃
21	1992	石神城跡 -茨城県那珂郡東海村所在中世城跡の調査-	〃
22	1992	茨城県教育財団文化財調査報告第 76 集 石伏南遺跡・東原遺跡	(財)茨城県教育財団
23	1993	常陸白方古墳群	東海村教育委員会
24	1994	常陸下ノ諏訪南遺跡	〃
25	1996	常陸銭塚古墳・白方古墳群	〃
26	1996	横谷津遺跡 -茨城県那珂郡東海村所在の埋蔵文化財の調査-	〃
27	1996	白方遺跡群 -茨城県那珂郡東海村所在の古代集落址の調査-	〃
28	1997	二ノ堀 B 遺跡・八軒原 A 遺跡 -茨城県那珂郡東海村所在・平安時代集落址の調査-	〃
29	1998	以古田 A・B 遺跡・上ノ諏訪遺跡・石伏東遺跡	〃
30	2000	常陸国石神城とその時代	〃
31	2001	茨城県教育財団文化財調査報告第 177 集 愛宕山古墳	(財)茨城県教育財団
32	2001	常陸江中子遺跡 -附・勝木田遺跡-	東海村教育委員会
33	2001	常陸御所内竈跡	〃
34	2001	常陸権現山古墳調査報告	〃
35	2002	常陸真崎古墳群 -測量調査報告書-	〃
36	2002	祢木内遺跡・橋壁遺跡	〃
37	2004	荒谷台 A 遺跡・荒谷台 B 遺跡・荒谷台 C 遺跡・荒谷台 D 遺跡・中丸古墳	〃
38	2004	庚申塚	〃
39	2004	常陸下ノ諏訪1号墳	〃
40	2005	茨城県教育財団文化財調査報告第 250 集 村松白根遺跡 I	(財)茨城県教育財団
41	2005	石橋向A遺跡	東海村教育委員会
42	2006	常陸茅山古墳	〃
43	2007	常陸真崎古墳群発掘調査	東海村教育委員会
44	2007	茨城県教育財団文化財調査報告第 284 集 村松白根遺跡 II	(財)茨城県教育財団
45	2008	茨城県教育財団文化財調査報告第 302 集 田向遺跡	〃
46	2009	向塚越遺跡・荒工遺跡	東海村教育委員会
47	2009	広野遺跡・笠内遺跡	〃
48	2009	白方遺跡群 -東海村立白方小学校建設工事に伴う発掘調査報告書-	〃
49	2011	堀米A遺跡(第 1 次調査)-東海村照沼小学校建設業務に伴う発掘調査報告書	〃
50	2011	堀米A遺跡(第 2 次調査)-東海村照沼小学校建設業務に伴う発掘調査報告書	〃

平成23年度社会教育施設利用状況

1. 東海村中央公民館講座実施状況

		講座名		実施期	講座回数	応募人数	述べ受講人数	備考
自然・科学	1	簡単！楽しい！二足歩行のロボットづくり		後期	6	7	30	
				小計	6	7	30	
芸術・文化	2	初心者のための篆刻		後期	10	9	58	託児付
	3	革工芸		後期	10	16	126	託児付
	4	和紙ちぎり絵		後期	10	8	46	託児付
	5	うさぎのおひなさま		後期	4	17	63	託児付
				小計	34	50	293	
文学・歴史	6	古文書		後期	10	42	273	
	7	『大鏡』の世界		後期	6	34	152	
生活文化				小計	16	76	425	
	8	自彊術を知ろう		後期	10	24	134	託児付
	9	スマートフォンの使い方		後期	2	15	23	託児付
	10	オフイスで役立つマナーアップ講座		後期追加	1	14	13	
				小計	13	53	170	
				後期追加	4	24	56	
健康	11	ベリーダンス		後期追加	4	24	56	
	12	親子でヒップホップ		後期追加	3	23	54	託児付
パソコン				小計	7	47	110	
	13	やさしいワード		後期	2	16	28	託児付
	14	やさしいエクセル		後期	2	18	32	託児付
	15	年賀状づくりA		後期	1	14	9	託児付
	16	年賀状づくりB		後期	1	16	15	託児付
	17	パソコンを活用しよう		後期	2	21	23	託児付
18	トラブル解決&回避～フアイル・記憶術～		後期	1	18	17	託児付	
			小計	9	103	124		
				合計	85	336	1,152	

※東日本大震災の影響により後期（10月～3月）のみ開催。

2. 東海村中央公民館使用状況（月別・年度別）

月	大会議室		中会議室		パソコン室		講座室		第1研修室		第2研修室		談話室		調理室		和室		合計		開館 日数	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数		
4月																						
5月																						
6月																						
7月																						
8月																						
9月	23	565	28	295	0	0	22	293	33	551	26	188	28	207	0	0	24	273	184	2,372	26	
10月	30	605	31	437	0	0	35	705	41	721	28	251	32	317	2	36	30	599	229	3,671	26	
11月	25	692	35	494	4	56	31	583	36	545	31	242	26	199	7	122	25	565	220	3,498	26	
12月	28	557	26	326	2	30	30	536	32	529	24	234	27	236	4	68	25	395	198	2,911	23	
1月	26	483	26	312	1	20	27	406	29	498	22	204	21	170	1	5	21	249	174	2,347	24	
2月	31	740	11	196	2	38	43	674	44	526	30	318	37	310	2	23	24	316	224	3,141	25	
3月	31	675	15	270	2	29	41	653	45	712	35	288	32	301	0	0	22	361	223	3,289	27	
計	194	4,317	172	2,330	11	173	229	3,850	260	4,082	196	1,725	203	1,740	16	254	171	2,758	1,452	21,229	177	

※東日本大震災の影響により、平成23年度の使用期間は9月から3月まで。（4月～8月は東海中学校が授業で使用。）

平22	438	9,821	414	6,124	27	498	336	6,771	377	5,340	363	3,266	386	3,521	45	737	250	4,334	2,636	40,412	289
平21	453	9,051	467	6,434	61	965	335	6,966	335	5,088	398	3,500	393	3,515	41	857	261	4,159	2,744	40,535	307
平20	424	9,619	418	6,065	69	941	352	7,306	348	5,399	388	3,722	415	3,751	35	761	283	4,475	2,732	42,039	306
平19	431	9,665	389	5,363	66	904	443	8,256	394	5,371	387	3,169	402	3,558	57	1,464	288	4,590	2,857	42,340	295
平18	442	9,776	412	5,597	66	864	395	6,720	415	6,118	426	3,926	376	3,348	79	1,725	288	4,483	2,899	42,557	285

3. 東海文化センター利用状況

施設区分	曜日別利用日数			利用者(団体数)			利用人数	回数
	平日	土曜	日曜・祝日	村内	村外			
					圈内	圏外		
ホール	74	24	33	126	13	2	34,242	307
楽屋1	35	14	23	65	5	2	249	179
楽屋2	57	17	26	87	6	2	501	206
楽屋3	36	16	24	66	8	2	347	181
楽屋4	51	18	28	99	7	2	948	212
第1会議室	—	—	—	—	—	—	—	—
第2会議室	—	—	—	—	—	—	—	—
和室	—	—	—	—	—	—	—	—
展示室	—	—	—	—	—	—	—	—
ピロティ	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	253	89	134	443	39	10	36,287	1,085

※ 上記回数とは、午前・午後・夜間を各1回として換算。

※ 震災復旧工事のため平成23年9月7日まで臨時休館。

※ 耐震診断の結果を受け、会議棟閉鎖

4. 東海ステーションギャラリー利用状況

	ギャラリーA			ギャラリーB			全合計
	企画展	貸しギャラリー	合計	企画展	貸しギャラリー	合計	
日数(日)	70	189	259	72	44	116	375
入場者数(人)	7,269	13,345	20,614	2,939	2,245	5,184	25,798

5. 東海村総合体育館利用状況

利用月	メインコート		サブコート		柔剣道場		弓道場		トレーニング室	
	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数
平成23年4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	22	774	22	1,038	22	719
6月	0	0	0	0	5	233	26	1,116	26	1,018
7月	27	5,083	27	1,307	20	855	27	1,060	27	1,051
8月	26	5,131	26	1,387	25	1,097	26	702	26	1,029
9月	15	1,423	13	504	26	1,093	26	710	26	952
10月	22	5,253	21	1,241	22	1,447	26	877	26	774
11月	23	5,968	23	1,352	23	2,072	20	407	23	637
12月	23	4,520	22	1,033	23	1,081	23	504	23	773
平成24年1月	22	2,996	21	852	21	814	23	450	23	958
2月	25	4,201	25	1,330	25	1,299	25	377	25	1,042
3月	27	4,229	27	1,174	27	1,131	27	663	27	1,116
合計	210	38,804	205	10,180	239	11,896	271	7,904	274	10,069

※東日本大震災の影響及び改修工事による使用休止施設及び期間。

- メイン・サブコート4/1～6/30
- 柔剣道場4/1～5/5, 6/6～7/8
- 弓道場4/1～5/5
- トレーニング室4/1～5/5

※メイン・サブコート, バスケットボール新ルールに伴うライン引きのため, 9/13～23利用休止。

6. 河川敷グラウンド・テニスコート・スイミングプラザ・南中グラウンド利用状況

利用月	外宿グラウンド		内宿グラウンド		テニスコート		スイミングプラザ		南中グラウンド	
	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数
平成23年4月	4	194	-	-	26	6,968	-	-	6	73
5月	15	1,113	-	-	25	6,731	-	-	8	262
6月	9	1,344	-	-	26	6,237	-	-	10	432
7月	11	1,110	10	1,425	27	6,739	30	12,804	12	470
8月	9	546	17	1,060	26	5,315	31	18,679	13	444
9月	7	542	9	925	25	6,376	9	323	13	376
10月	10	1,407	10	1,087	25	7,544	-	-	11	425
11月	7	783	6	610	25	7,095	-	-	-	-
12月	9	431	8	975	23	6,655	-	-	-	-
平成24年1月	8	176	9	1,025	23	6,851	-	-	-	-
2月	8	436	11	792	25	6,679	-	-	-	-
3月	10	646	12	1,174	26	7,190	-	-	-	-
合計	107	8,728	92	9,073	302	80,380	70	31,806	73	2,482

※東日本大震災の影響による使用休止施設及び期間。

- 内宿グラウンド4/1～6/30
- テニスコート1番コート4/1～8/31, 10/1～10/12
- テニスコート2番コート及び夜間区分(1～4番コート・17～21時)4/1～10/12
- 南中グラウンド4/1～10/31(今年度使用休止)

7. 学校開放事業実績

(1) 体育館

学校名	第1次開放(4月～7月)		第2次開放(8月～11月)		第3次開放(12月～3月)		合 計	
	団体数	日数	団体数	日数	団体数	日数	団体数	日数
東海中	5	0	5	30	5	73		103
東海南中	9	0	9	66	9	70		136
白方小	6	22	6	61	6	75		158
照沼小	0	0	0	0	0	0		0
中丸小	11	35	11	78	11	105		218
石神小	9	69	9	92	9	81		242
舟石川小	9	62	9	49	9	66		177
村松小	3	58	3	31	3	58		147
合 計	52	246	52	407	52	528		1,181

(2) 格技場

学校名	第1次開放(4月～7月)		第2次開放(8月～11月)		第3次開放(12月～3月)		合 計	
	団体数	日数	団体数	日数	団体数	日数	団体数	日数
東海中	0	0	0	0	0	0		0
東海南中	0	0	0	0	4	89		89
合 計	0	0	0	0	4	89		89

(3) 運動場

学校名	第1次開放(4月～7月)		第2次開放(8月～11月)		第3次開放(12月～3月)		合 計	
	団体数	日数	団体数	日数	団体数	日数	団体数	日数
白方小	4	40	4	30	4	15		85
照沼小	0	0	0	0	0	0		0
中丸小	0	0	6	38	6	31		69
石神小	3	40	3	20	3	29		89
舟石川小	7	46	7	66	7	44		156
村松小	3	58	3	31	3	58		147
合 計	17	184	23	185	23	177		546

※数値はいずれも延べ数

図 書 館

図書館事業の概要

図書館は、平成23年10月にリニューアルオープンいたしました。村民に開かれた「出会いと交流の図書館」を目指し、引き続き、東海村第5次総合計画と、その部門計画である「とうかい教育プラン2020」に基づき、教育分野の将来像である「生涯にわたって学習することができ、その成果を生かせるまち」に向けて、各種事業の推進に努力していきます。

1 心豊かな人をはぐくむ社会教育の推進を図ります

心豊かな人をはぐくむために、誰もが、いつでも、どこでも自由に学ぶことができるような社会を実現していきます。

家庭・学校・地域における読書環境を整備し、充実させ、社会全体での読書活動の推進のために、関係各所と連携を図ります。

(1) 読書活動の推進と啓発を図ります

【施策目標】

- ① 図書館情報の提供
- ② 図書館サービスの充実
- ③ 本に親しむ環境づくり
- ④ 社会全体での読書活動

〔主な実施事業〕

(単位:千円)

種別	事業(行事)名	事業(行事)内容	H24 予算
継続	図書館協議会運営事業	図書館運営の諮問機関として委員から専門的な意見を聴取し、多様化、高度化する村民のニーズに応えるとともに、図書館運営に反映する。	141
継続	読書推進事業	図書館活動やサービスの内容をPRするとともに、読書講演会や体験学習等の各種イベントへの参加を促し、またブックスタート事業の実施により図書館や本自体に親しむきっかけを創出する。	581
継続	読書活動推進団体活動費補助事業	よみかせ等を実施している団体の活動を支援することで、幼児・児童のみならず大人までの読書活動の向上と読書意欲の高揚を推進する。	50

2 安全で安心して学べる施設の充実を図ります

学校施設や社会教育施設は地域防災拠点としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要です。そのため、住民が安全で安心して学べる施設となるように、建物の耐震化と施設整備を計画的に進めるとともに、適切な運営管理を行います。

生涯学習に対する住民ニーズを的確に把握し、学習とその成果の発表の場となる施設の整備充実を図ります。

(1) 社会教育施設の整備充実を図ります

【施策目標】

- ①図書館の管理・運営 ②図書館資料の充実

[主な実施事業]

(単位:千円)

種別	事業(行事)名	事業(行事)内容	H24 予算
継続	図書館管理運営事業	図書館施設, 設備の維持管理や図書管理電算システム機器の賃借など図書館を運営していくために必要な経費であり, 健全で快適な読書環境の維持を図る。	26,061
継続	図書資料整備事業	図書館及びコミュニティセンター図書コーナーの資料を, 社会情勢・利用者ニーズに合わせて計画的に収集・整備・提供し, 新鮮で魅力ある図書館の維持を図る。	17,595

資料保有状況

(平成24年3月31日現在)

		図書館		石神コミセン		村松コミセン		白方コミセン	
		一般	児童	一般	児童	一般	児童	一般	児童
0	総記	3,872	521	33	1	138	20	47	3
1	哲学	3,267	293	28	22	35	115	76	18
2	歴史地理	8,831	1,664	44	68	61	141	71	13
3	社会科学	11,911	2,387	54	4	71	34	72	17
4	自然科学	6,735	3,071	58	64	117	97	109	77
5	工学	10,013	1,268	633	32	657	52	808	41
6	産業	2,759	713	62	11	70	21	108	11
7	芸術	9,603	1,676	133	62	197	91	197	91
8	語学	2,369	588	15	10	28	12	38	2
9	文学	33,384	13,199	375	505	440	592	615	596
E	絵本	0	20,057	0	901	0	1,303	0	1,355
C	紙芝居	0	1,713	0	121	0	133	0	174
D	原子力	1,972	70	12	0	14	0	10	0
M	郷土(東海)	2,970	48	38	2	42	2	57	2
L	郷土(茨城)	5,349	89	44	1	45	3	40	1
Y	洋書	1,376	508	0	0	0	0	0	1
YE	洋書絵本	0	1,256	0	0	0	0	0	0
S	マンガ	2,809	0	233	0	310	0	93	0
	その他	63	5	0	0	2	0	0	0
	図書合計	107,283	49,126	1,762	1,804	2,227	2,616	2,341	2,402
Z	雑誌		5,299		188		129		226
	小計		161,708		3,754		4,972		4,969
視聴覚	CD		4,463		0		0		0
	カセット		16		0		0		0
	ビデオ		1,208		0		0		0
	DVD		1,648		0		0		0
	その他		45		0		0		0
	視聴覚計		7,380		0		0		0
	総合計		169,088		3,754		4,972		4,969

		真崎コミセン		中丸コミセン		舟石川コミセン		総合計	
		一般	児童	一般	児童	一般	児童	一般	児童
0	総記	27	0	56	2	43	31	4,216	578
1	哲学	47	13	70	12	44	21	3,567	494
2	歴史地理	37	20	76	83	54	115	9,174	2,104
3	社会科学	71	1	138	29	92	34	12,409	2,506
4	自然科学	66	49	140	63	128	78	7,353	3,499
5	工学	566	24	622	15	648	40	13,947	1,472
6	産業	57	7	97	11	95	17	3,248	791
7	芸術	81	40	177	74	186	95	10,574	2,129
8	語学	12	7	33	25	24	19	2,519	663
9	文学	619	384	712	494	780	700	36,925	16,470
E	絵本	0	1,002	0	1,093	0	1,273	0	26,984
C	紙芝居	0	110	0	126	0	181	0	2,558
D	原子力	10	0	13	0	16	0	2,047	70
M	郷土(東海)	33	3	50	3	49	2	3,239	62
L	郷土(茨城)	34	2	45	1	38	0	5,595	97
Y	洋書	0	0	0	0	0	0	1,376	509
YE	洋書絵本	0	0	0	0	0	0	0	1,256
S	マンガ	105	0	200	0	499	0	4,249	0
	その他	5	0	1	0	3	0	74	5
	図書合計	1,770	1,662	2,430	2,031	2,699	2,606	120,512	62,247
Z	雑誌		187		198		84		6,311
	小計		3,619		4,659		5,389		189,070
視聴覚	CD		0		0		0		4,463
	カセット		0		0		0		16
	ビデオ		0		0		0		1,208
	DVD		0		0		0		1,648
	その他		0		0		0		45
	視聴覚計		0		0		0		7,380
	総合計		3,619		4,659		5,389		196,450

※「洋書マンガ」「洋書絵本」は「洋書」として計上しています。

平成23年度図書館利用状況

(1) 図書館・コミュニティセンター利用状況

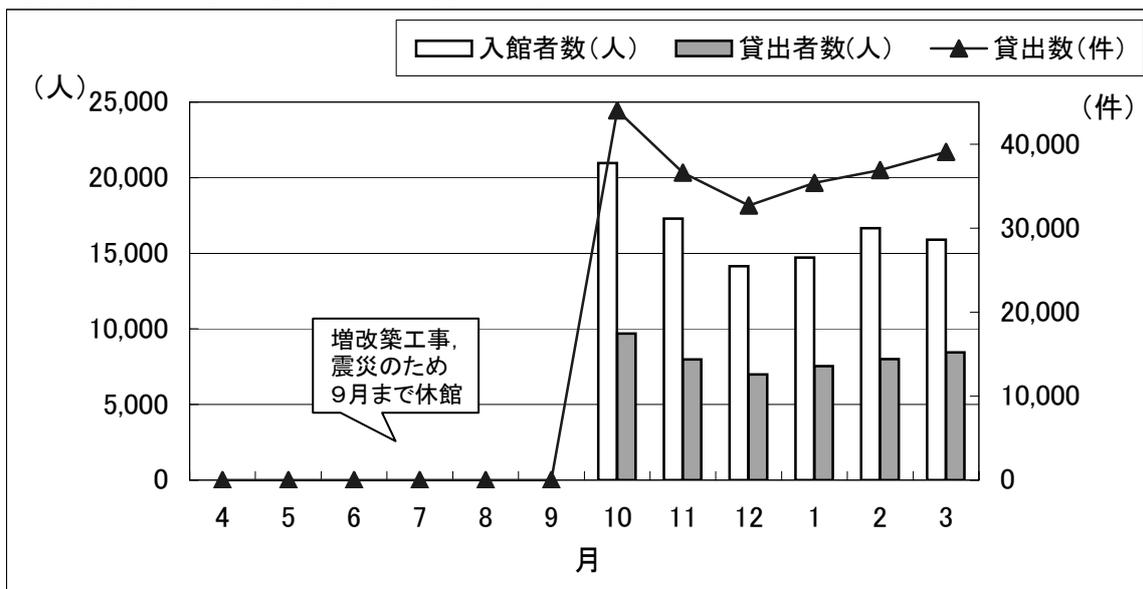
(平成24年3月31日現在)

図書館利用数															
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	1日平均	
開館日	0	0	0	0	0	0	25	24	23	23	25	26	146		
入館者	0	0	0	0	0	0	20,961	17,285	14,150	14,717	16,657	15,901	99,671	683	
貸出者	0	0	0	3	0	0	9,695	7,980	6,988	7,534	7,997	8,438	48,635	333	
図書貸出数	一般	0	0	0	0	0	23,431	19,393	17,183	18,807	20,187	21,675	120,676	827	
	児童	0	0	0	0	0	6,153	4,727	4,618	4,760	4,581	5,089	29,928	205	
	絵本	0	0	0	0	0	9,225	8,166	7,063	7,708	7,766	7,729	47,657	326	
	紙芝居	0	0	0	0	0	517	552	353	391	440	411	2,664	18	
	雑誌	0	0	0	0	0	1,977	1,750	1,757	1,979	1,940	1,996	11,399	78	
	小計	0	0	0	0	0	41,303	34,588	30,974	33,645	34,914	36,900	212,324	1,454	
視聴覚貸出数	CD	0	0	0	0	0	1,253	948	834	832	883	1,011	5,761	39	
	カセット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ビデオ	0	0	0	0	0	56	25	12	19	30	10	152	1	
	DVD	0	0	0	0	0	1,322	983	823	829	960	1,021	5,938	41	
	館内利用	0	0	0	0	0	77	49	37	43	105	115	426	3	
	小計	0	0	0	0	0	2,708	2,005	1,706	1,723	1,978	2,157	12,277	84	
合計	0	0	0	0	0	44,011	36,593	32,680	35,368	36,892	39,057	224,601	1,538		
コミュニティセンター利用状況															
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	1日平均	
石神	貸出者数	0	91	188	167	298	180	103	84	109	103	126	121	1,570	
	貸出数	0	304	879	1,080	1,331	857	352	326	348	343	437	423	6,680	
村松	貸出者数	0	68	118	152	205	121	75	66	72	83	74	67	1,101	
	貸出数	0	196	526	670	966	601	265	238	218	283	258	237	4,458	
白方	貸出者数	1	60	121	262	321	135	92	106	96	105	125	129	1,553	
	貸出数	1	272	516	1,231	1,426	561	300	335	357	344	434	464	6,241	
真崎	貸出者数	0	61	172	214	304	215	74	88	61	86	94	87	1,456	
	貸出数	0	195	700	949	1,343	1,042	246	230	177	299	342	279	5,802	
中丸	貸出者数	0	90	231	282	303	182	88	71	64	62	72	83	1,528	
	貸出数	0	344	906	1,089	1,176	815	260	231	193	222	275	298	5,809	
舟石川	貸出者数	0	92	268	414	487	300	117	132	140	135	108	126	2,319	
	貸出数	0	418	1,326	2,134	2,500	1,551	372	424	541	548	417	411	10,642	
小計	貸出者数	1	462	1,098	1,491	1,918	1,133	549	547	542	574	599	613	9,527	
	貸出数	1	1,729	4,853	7,153	8,742	5,427	1,795	1,784	1,834	2,039	2,163	2,112	39,632	
総 合 計															
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	1日平均	
総貸出者数	1	462	1,098	1,494	1,918	1,133	10,244	8,527	7,530	8,108	8,596	9,051	58,162	398	
総貸出数	1	1,729	4,853	7,153	8,742	5,427	45,806	38,377	34,514	37,407	39,055	41,169	264,233	1,810	

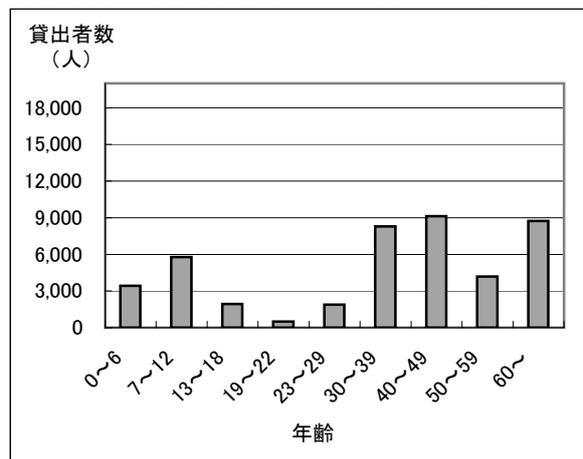
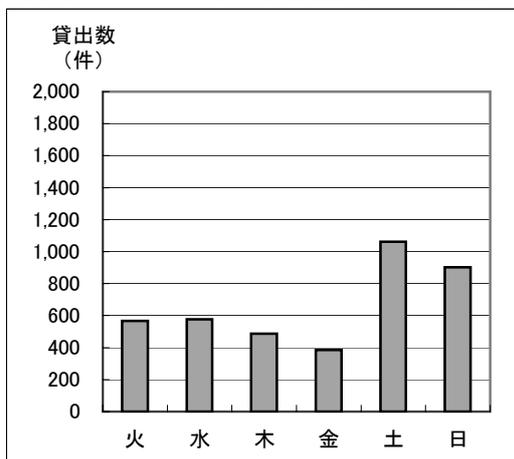
(2) 図書館利用の移り変わり

年度		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
図書館	開館日	260	262	271	245	240	271	272	272	277	272	273	271	257	146
	入館者数	142,178	149,222	165,477	142,772	143,343	154,328	157,280	156,887	121,769	144,629	141,258	144,221	139,193	99,671
	貸出者数	56,833	60,489	64,460	63,597	59,772	67,624	70,069	75,490	64,812	83,512	76,610	80,826	74,926	48,635
	1日平均貸出者数	218	230	237	259	249	249	258	278	234	307	281	298	292	333
	一般	113,891	124,767	132,154	150,647	153,226	177,350	181,929	188,535	167,533	203,120	200,321	211,964	191,407	120,676
	児童	29,132	30,263	31,126	35,044	34,998	43,170	45,972	48,377	42,834	53,920	48,857	53,532	47,724	29,928
	絵本	30,784	31,538	36,604	42,871	39,780	47,638	51,154	61,777	53,765	71,775	67,923	69,950	64,403	47,657
	紙芝居	1,813	1,826	1,735	2,460	2,403	2,703	3,487	4,220	3,440	4,181	3,830	4,146	4,210	2,664
	雑誌	7,860	8,051	8,292	11,042	10,132	11,763	11,692	12,911	11,069	13,872	13,424	15,017	13,893	11,399
	小計	183,480	196,445	209,911	242,064	240,539	282,624	294,234	315,820	278,641	346,868	334,355	354,609	321,637	212,324
視聴覚	11,893	11,483	12,383	15,805	18,753	22,883	25,217	19,795	22,959	24,856	22,333	22,856	21,731	12,277	
合計	195,373	207,928	222,294	257,869	259,292	305,507	319,451	335,615	301,600	371,724	356,688	377,465	343,368	224,601	
セコミ	貸出者数	6,459	5,839	6,994	6,762	9,807	9,321	9,350	8,442	8,661	7,586	8,435	8,373	8,109	9,527
	貸出数	19,480	17,560	21,627	23,206	30,988	29,097	28,188	26,519	29,471	24,838	29,454	29,123	28,207	39,632
合計	蔵書冊数	129,204	130,709	132,154	139,399	138,694	137,294	142,431	150,499	156,522	161,948	170,512	180,676	188,176	188,176
	貸出者数	63,292	66,328	71,454	70,359	69,579	76,945	79,419	83,932	73,473	91,098	85,045	89,199	83,035	58,162
	貸出数	214,853	225,488	243,921	281,075	290,280	334,604	347,639	362,134	331,071	396,562	386,142	406,588	371,575	264,233

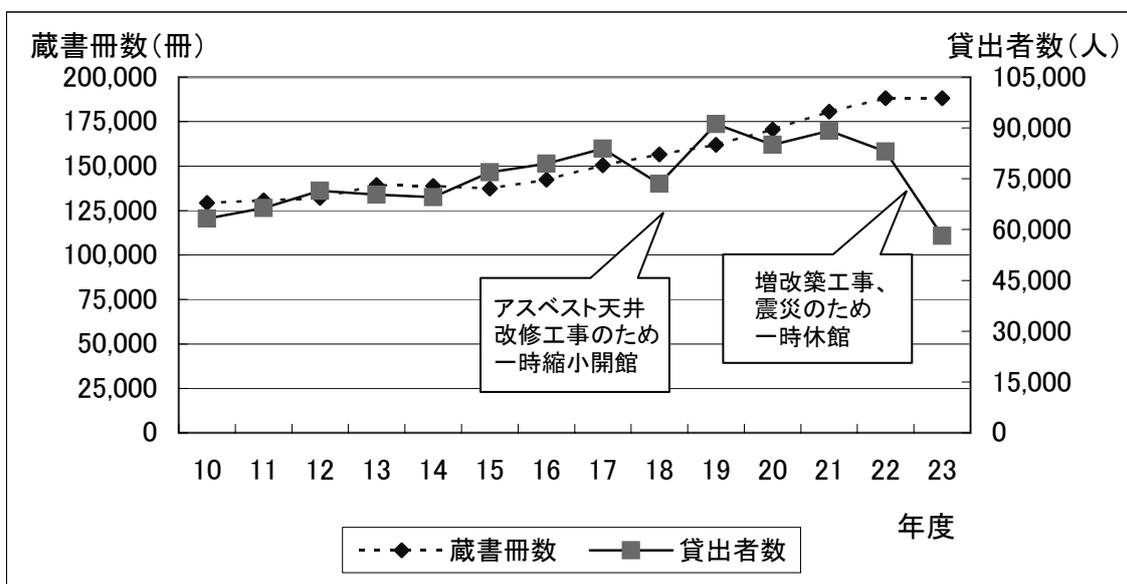
(3) 図書館月別利用状況(コミセン含まない)



(4) 曜日別一日平均貸出数(コミセン含まない) (5) 年齢別貸出者数(コミセン含まない)

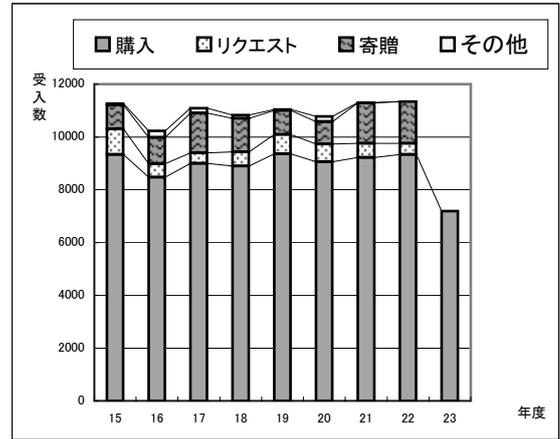


(6) 図書館利用の移り変わり(コミセン含む)



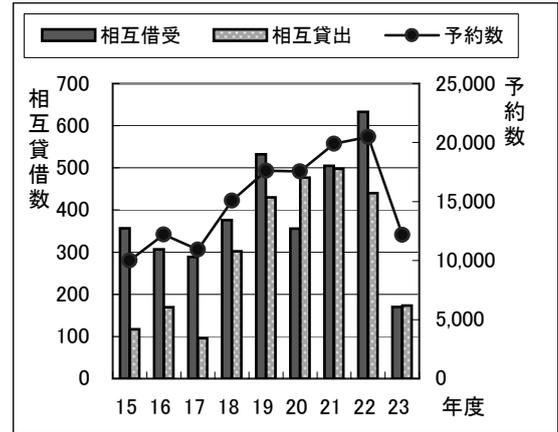
(7)受入状況(コミセン含む)

年度	受入数	うち購入	うちリクエスト	うち寄贈
15	11,263	9,328	980	902
16	10,230	8,468	516	993
17	11,090	8,996	394	1,508
18	10,824	8,902	528	1,273
19	11,043	9,360	734	908
20	10,781	9,056	680	839
21	11,346	9,216	536	1,538
22	11,377	9,331	425	1,582
23	8,915	7,185	131	1,592



(8)予約・相互貸借利用状況

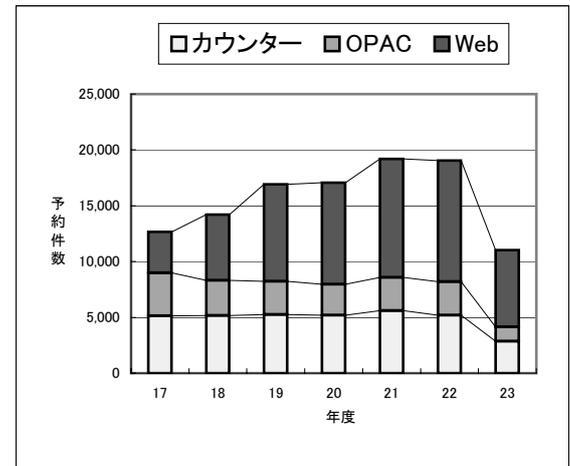
年度	予約数	相互借受	相互貸出	相互合計
15	10,016	357	117	474
16	12,218	307	169	476
17	10,926	289	96	385
18	15,068	376	302	678
19	17,609	532	430	962
20	17,564	356	477	833
21	19,912	505	498	1,003
22	20,488	633	440	1,073
23	12,168	170	173	343



(9)予約利用状況

年度	Web	カウンター	OPAC
18	5,893	5,176	3,139
19	8,684	5,253	2,968
20	9,123	5,206	2,745
21	10,632	5,589	2,976
22	10,861	5,191	3,005
23	6,892	2,867	1,268

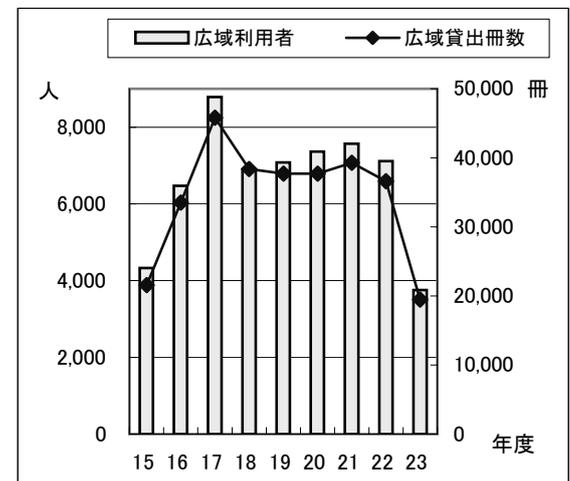
※カウンター：来館し、カウンターで予約（職員対応）
 ※OPAC：来館し、検索機で予約（機械化）



(10)広域利用状況

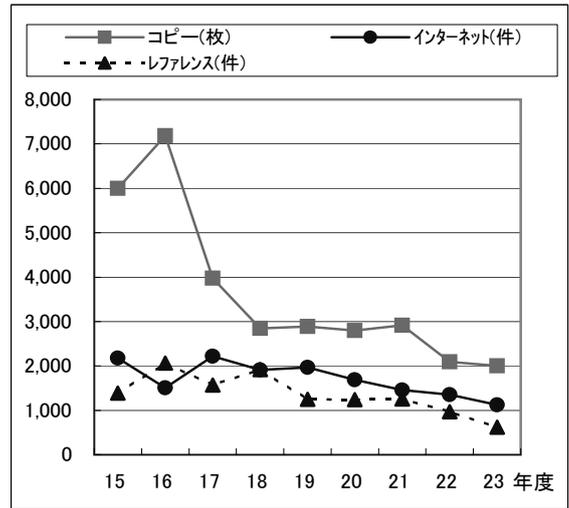
年度	広域利用者	広域貸出冊数
15	4,325	21,554
16	6,475	33,513
17	8,785	45,797
18	6,894	38,372
19	7,084	37,719
20	7,362	37,701
21	7,568	39,274
22	7,117	36,631
23	3,757	19,486

※平成18年9月4日から12月1日までアスベスト工事
 ※平成18年10月に那珂市立図書館が開館



(11)コピー・レファレンス・インターネット利用状況

年度	コピー(枚)	レファレンス(件)	インターネット(件)
15	6,001	1,387	2,178
16	7,186	2,065	1,505
17	3,973	1,568	2,215
18	2,846	1,915	1,913
19	2,887	1,247	1,967
20	2,797	1,243	1,686
21	2,912	1,256	1,455
22	2,095	968	1,355
23	2,004	620	1,126



(12)図書館利用状況等実績比率(コミセンを含む)

(平成24年3月31日現在)

指 標	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
1日当りの入館者数(人)	440	532	517	532	542	683
図書館のみ 入館者数(人)	121,769	144,629	141,258	144,221	139,193	99,671
開館日数(日)	277	272	273	271	257	146
1日当りの貸出者数(人)	265	335	312	329	292	333
貸出者数(人)	73,473	91,098	85,045	89,199	74,926	48,635
開館日数(日)	277	272	273	271	257	146
1日当りの貸出数(冊)	1,179	1,458	1,414	1,500	1,336	1,538
貸出数(冊)	326,626	396,562	386,142	406,588	343,368	224,601
開館日数(日)	277	272	273	271	257	146
村民1人当りの貸出数(冊)	9.1	10.9	10.4	10.9	9.1	5.9
貸出数(冊)	326,626	396,562	386,142	406,588	343,368	224,601
人口(人)	35,956	36,293	37,032	37,133	37,534	38,138
蔵書回転率(回)	2.1	2.4	2.3	2.3	1.8	1.2
貸出数(冊)	326,626	396,562	386,142	406,588	343,368	224,601
蔵書数(冊)	156,522	161,948	170,512	180,676	188,176	188,176
村民1人当りの蔵書数(冊)	4.4	4.5	4.6	4.9	5.0	4.9
蔵書数(冊)	156,522	161,948	170,512	180,676	188,176	188,176
人口(人)	35,956	36,293	37,032	37,133	37,534	38,138
村民1人当り図書購入費(円)	311	309	302	302	298	294
図書購入費(千円単位)	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200
人口(人)	35,956	36,293	37,032	37,133	37,534	38,138
村民1人当り図書館費(円)	2,137	1,308	2,010	1,283	21.3	5,985
図書館費(千円単位)	76,848	47,487	74,445	47,644	798,318	228,258
人口(人)	35,956	36,293	37,032	37,133	37,534	38,138
	改修工事のため、一時縮小開館。				増改築工事、震災のため、一時休館。	増改築工事のため、9月まで休館。

図書館のあゆみ

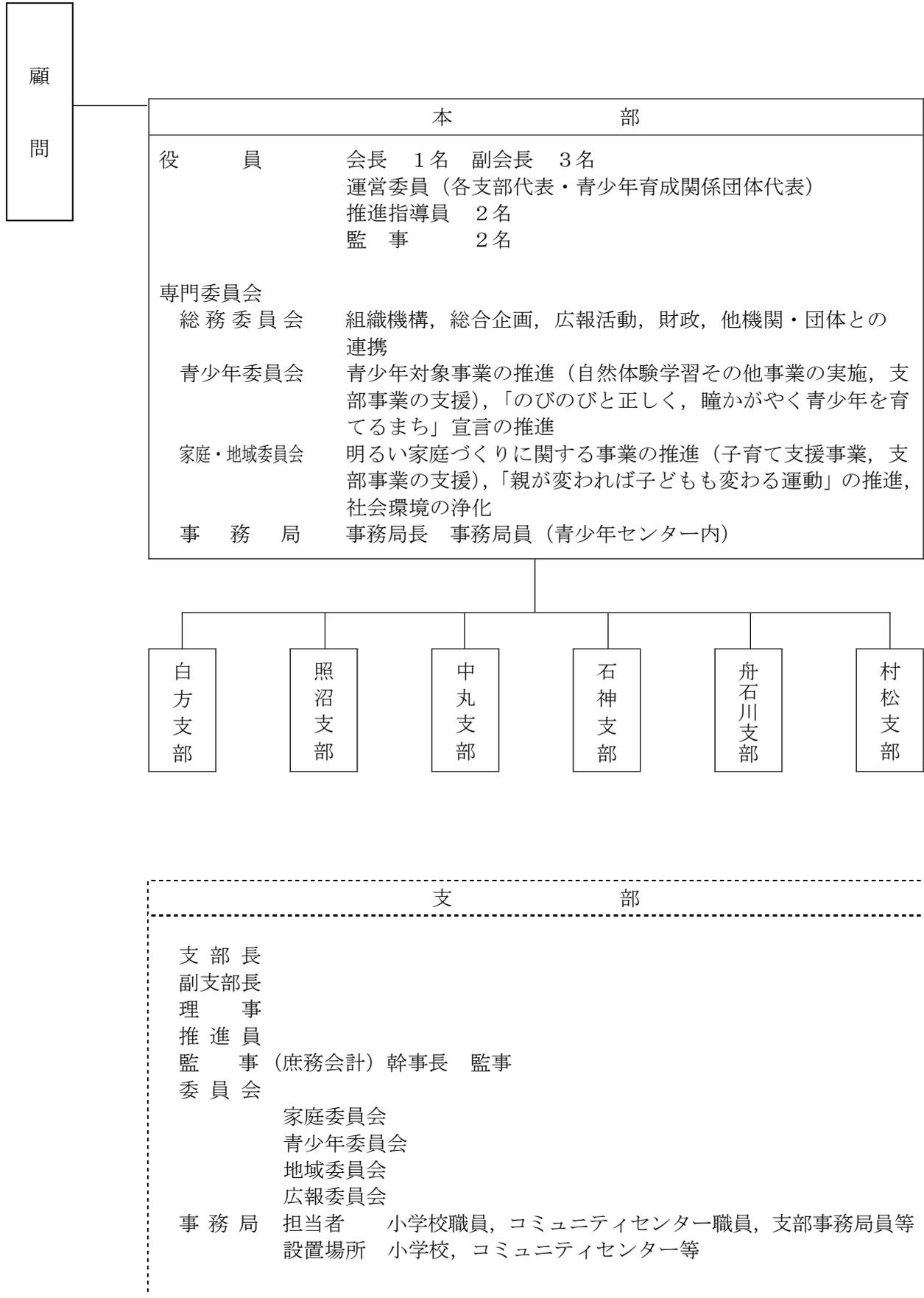


年	月	図書館の主な出来事
1977	(S52) 10月	青年の家（現：中央公民館）図書室で貸出開始
1983	(S58) 6月	図書館建設計画検討委員会発足
1985	(S60) 8月	東海村立図書館開館
1988	(S63) 4月	石神コミュニティセンター図書室開館
1989	(H元) 11月	村松コミュニティセンター図書室開館
1991	(H 3) 6月	図書管理電算システム第1期更新（IAC/オフコン）
1993	(H 5) 12月	白方コミュニティセンター図書室開館
1994	(H 6) 10月	真崎コミュニティセンター図書室開館
1995	(H 7) 6月	図書管理電算システム更新（IAC/オフコン）
	8月	開館10周年；図書館シンボルマーク・キャラクター（ものしり君）制定，郷土資料室オープン，郷土資料「石神後鑑記」復刻，郷土民話ビデオ完成，図書館ボランティア結成，日・米・中・独蔵書交換
1996	(H 8) 3月	図書管理電算システム第2期切替（NEC/LiCS-R）パソコンシステム導入
1997	(H 9) 12月	中丸コミュニティセンター図書室開館
1998	(H10) 9月	舟石川コミュニティセンター図書室開館
2001	(H13) 7月	図書館システム第3期切替（NEC/LiCS-RⅡ）図書館・コミュニティセンターネットワークシステム（村内無線LAN）導入，インターネット閲覧端末設置
	9月	ホームページ公開（インターネット蔵書検索），図書館広域利用開始（水戸地方広域市町村圏・15市町村）
2002	(H14) 12月	館内改修（12/12-2/7）ワンフロアオープンスペース，貸出手続き確認装置（BDSシステム）導入
2004	(H16) 3月	インターネット予約受付開始（WEB予約）
	7月	ブックスタート開始（5ヶ月乳児検診の際に絵本1冊，手引書，絵本リストを贈り読み聞かせの実演と読書相談を行う）
2005	(H17) 7月	図書館システム第4期切替（NEC/LiCS-RⅢ）携帯電話対応，自動貸出機設置
	8月	開館20周年；小学生のためのお話会（たんぼほの会），図書館探検，記念式典・講演会（講師・廣瀬誠氏），講談社お話キャラバンカー，音楽会（水戸雅楽会），ライブ・コンサート・人形劇（つくばライアー），人形劇（茨城大学児童文化研究会），本の修理講座，本の装備・配架講座，よみきかせ講座開催
	10月	全国図書館大会茨城大会で優秀図書館表彰を受ける
2006	(H18) 4月	平成18年4月23日「子ども読書の日」子どもの読書活動推進フォーラム」において，子どもの読書活動実践優秀図書館として文部科学大臣表彰を受ける。
	9月	アスベスト天井改修工事・一部開館（多目的ルーム）～12/1
2007	(H19) 3月	利用者カードの更新 3/10～5/10
2008	(H20) 6月	図書館増改築検討委員会発足
	3月	図書館増改築計画書まとまる
2009	(H21) 3月	「東海村子ども読書活動推進計画」策定
2010	(H22) 6月	図書館増改築工事スタート
2011	(H23) 3月	増改築工事のため休館
2011	(H23) 3月	東日本大震災のため，工事期間延長（2ヶ月半）
	10月	リニューアルオープン 自動貸出機台数増（1台→3台），インターネット閲覧席増（2席→8席），館内検索機増（4台→6台） 太陽光発電導入，交流ラウンジ開設，ボランティアルーム開設 子どもトイレ設置，授乳室設置，対面朗読室設置 ティーンズコーナー（中高生向け）開設 メディアコンプレックスコーナー（多種媒体混合展示）開設 図書館システム第5期切替（NEC/LiCS-Re）ICタグによる資料管理 雑誌タイトル数増（124誌→155誌） 開館時間の延長（水・木19時まで→平日は毎日19時まで）

生涯學習 関連資料

青少年育成東海村民会議

1. 組織図



2. 活動方針

次代を担う東海村の青少年が、健やかにたくましく成長し、社会の一員としての役割を担い、活気に満ちた地域社会を創りあげていくことは村民すべての願いである。この願いの実現を目指し本会議は、昭和56年1月に村民会議が発足して以来今日まで、青少年の健全育成のためにさまざまな行事・活動・啓発を展開してきた。

今日の青少年をみると、めまぐるしく変化する社会環境の中にあっても多くの青少年は自らの夢や希望に向けて努力し、成長を遂げようとしていることは喜ばしい限りである。

そのような中で、東日本大震災の被災地の救済に積極的に取り組む青少年の活動は、多くの人々に感動を与えるとともに、絆の大切さや人間関係の在り方を再認識させるものとなった。

しかしながら、近年、家庭や地域の教育力の低下や大人の規範意識の低下、情報化社会の進展による人間関係の希薄化などにより、青少年を取り巻く環境は大きく変化しており、それに伴い様々な問題が生じてきている。

このような青少年問題は、大人社会の反映であるとの認識に立ち、親や大人自身が、自らを省み、姿勢を正して、家庭や地域社会における教育力の向上に努め、青少年が持つ自ら伸びようとする力が十分に発揮できるより良い環境を整えていくことが必要である。青少年の人格形成の基礎的役割を果たす場所が家庭である。家庭における親の一層の自覚を促すことを願い、県民会議が推進する「親が変われば、子どもも変わる」運動を育成運動の根幹に据え、各種活動を推進していく。

また地域社会の一人ひとりが、青少年の育ちに関心を持ち、交流を深め、青少年を地域で見守り育んでいく「地域親」の普及を進めるため、「あいさつ・声かけ」運動などを積極的に推進する。

各支部においては地区自治会の専門部会の一つである教育部会の役割を担っているところもある中で、地区自治会や地区社協といった多くの関係機関と連携を図りつつ、各支部の特色ある独自性を尊重しながら地域の実情にあった支部活動を推進していくことが重要である。

青少年育成東海村民会議としては、多くの村民を巻き込んで活動を展開することは青少年を守ることや生きる力を育むために重要であることから各種関係機関・団体と協調を図り、家庭・学校・地域社会が一体となった青少年育成村民運動を推進するものである。

3. 重点目標

- (1) 明るい家庭・健全な地域づくりの推進
- (2) あいさつ・声かけ運動の推進
- (3) 青少年の社会参加活動の推進とリーダー養成
- (4) 青少年育成活動者の資質の向上
- (5) 村青少年宣言推進委員会とタイアップしたノーテレビ運動の推進
- (6) 関係機関・団体の事業への積極的な支援および連携強化

4. 本部事業計画

(1) 村民運動推進活動

①事業企画及び推進活動

総会 1回

日 時 平成24年 4月18日 (水) 午後6時30分から

場 所 総合福祉センター絆 (多目的ホール)

運営委員会 2回

正・副会長会議 (6回)

各専門委員会 2回以上 本部・支部長会議 2回

学校連絡会 支部事務局・コミセン・地区自治会との連携

②指導者の養成

「母と子のサロン」実行委員の勉強会の実施

「自然体験学習の旅」のリーダー・スタッフ研修の実施

県主催の指導者養成講座及び研修への参加

③支部活動への支援

活動費の助成と指導者育成面での支援

④広報活動

会報「ふれあい」(年1回)の発行・配布

事業報告書などの作成・配布

ホームページでの情報発信

⑤一般会員, 賛助会員, 特別賛助会員の拡大

⑥各事業実行委員の募集

⑦会議・研修会への参加・派遣

社団法人青少年育成茨城県民会議総会および会議・研修会

大宮地区青少年育成市村民会議連絡会

⑧ノーテレビ運動の推進

「テレビの声より家族の声」推進事業の新たな推進と更なる情報発信

(2) 青少年育成事業

[本部事業]

①「自然体験学習の旅」の実施

期 日 平成24年 7月27日 (金) ~ 7月30日 (月)

研修先 国立赤城青少年交流の家, 水上町 等

対 象 小学生 5~6年生...90人 中学生 (リーダー) ...20人

指導者...20人 (高校生を含む)

②心豊かな子育て運動の推進

「母と子のサロン」の実施 (前期・後期の二期制での実施)

自主グループへの支援の充実

③父親の子育てへの参加支援

「ちびっこ集まれ」の実施
参加者募集の広報活動の充実

④ふるさと意識の高揚

「ふるさと少年教室」の実施
子どもたちによる企画・実行
親子体験型行事の実施

⑤東海やったん祭への参加

ブーメラン教室
自然体験学習の旅中学生リーダーによる模擬店

⑥その他の活動

青少年団体への支援
地域活動の促進

〔支部事業〕

支部の事業としては、「明るい家庭づくり」と「地域とのふれあい」を運動の基本としてとらえ、活動の充実発展のために、親子のふれあい、地域とのふれあい行事などを中心に育成事業を推進する。各支部とも定期総会、理事会、各委員会の実施のほか、次の事業を実施。

①白方支部

クリーン作戦、親子映画会、ハゼつり大会、ウォークラリー大会、親子工作教室、白方小学校卒業生への赤飯贈呈、支部報の発行 等

②照沼支部

代掻き、田植え、稲刈り、収穫祭、まゆ玉づくり、支部報の発行 等

③中丸支部

映画上映会、ふれあいコンサート、今昔の遊び、花壇街路樹下の草花植え・草取り、支部報の発行 等

④石神支部

ふれあい花壇整備、親子ふれあい事業、映画会、三世代交流会、親子つり大会、支部報の発行 等

⑤舟石川支部

ふれあいハイキング、ふれあいキャンプ、ふれあい運動会、しめ縄づくり&餅つき会、ケーキづくり会、支部報の発行 等

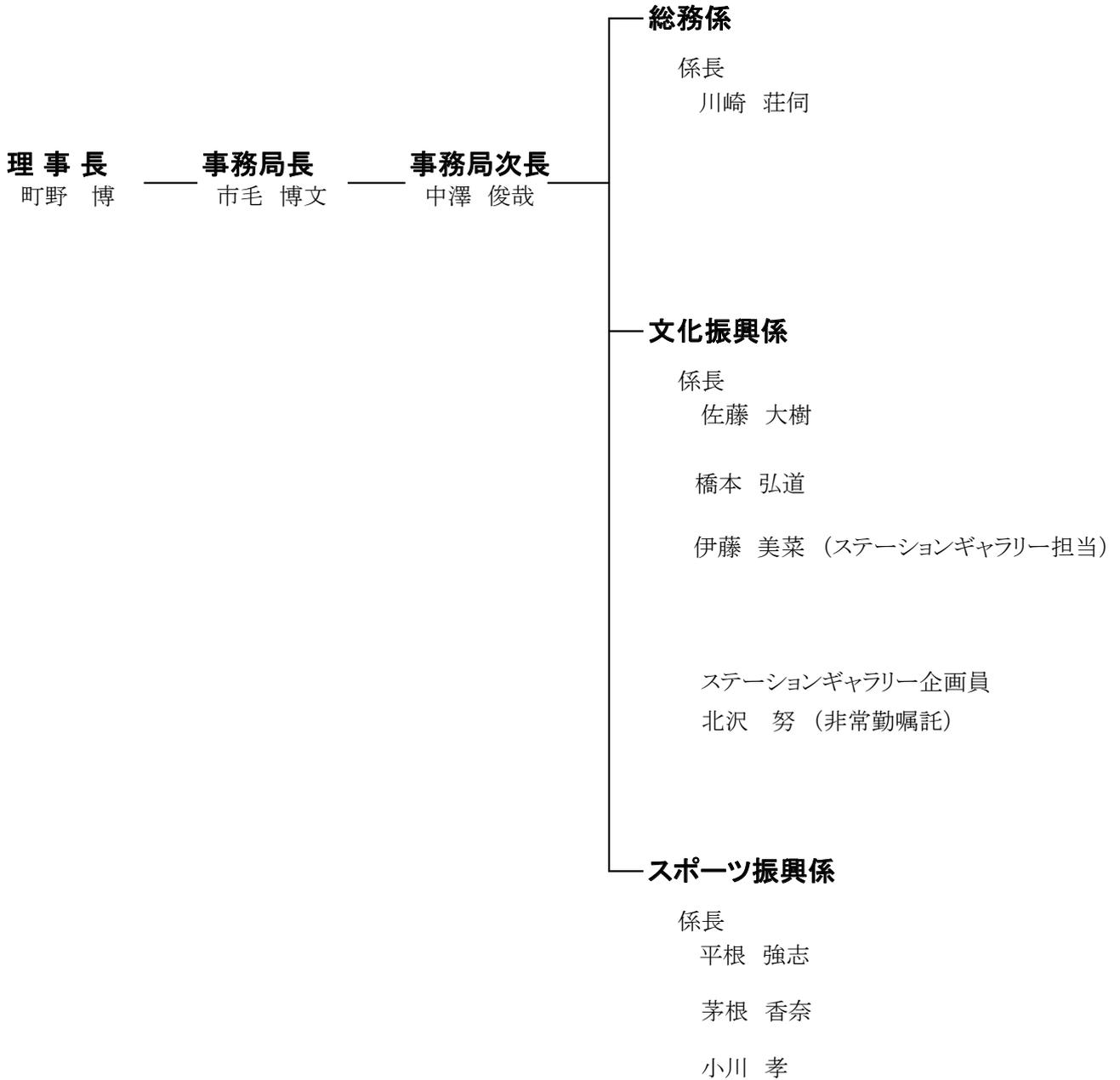
⑥村松支部

村松小学校新入生への花束贈呈、クリーン作戦、つり大会、しめ飾り&餅つき大会、村松小学校卒業生への赤飯・花束贈呈、支部報の発行 等

公益財団法人東海村文化・スポーツ振興財団

1. 組織図

平成24年4月現在



2. 平成 24 年度事業計画

1. 文化・スポーツに関する活動を支援し、人材を育成する。

- ① 東海村文化祭開催時に、東海文化センターホール・東海村総合体育館の無料開放を行い、村民の各種グループ等による発表会を支援する。
- ② グランドピアノの使用開放と練習場所の提供をする。
- ③ 楽器愛好者の技術向上と、東海村吹奏楽団の活動を支援する。
- ④ 住民参加ミュージカル事業により結成された「劇団とみかる」の活動を支援する。
- ⑤ 生涯スポーツの普及を図ることを目的としたスポーツ教室を開催する。
- ⑥ 健康増進の機会の提供と競技人口の底辺拡大を図ることを目的としたスポーツ教室を開催する。
- ⑦ 東海駅ステーションギャラリーを利用して創作活動を行う彫刻講座・絵画教室等を開催する。

2. 文化及びスポーツ団体と連携・協働を図り、文化・スポーツを通しての交流事業を行う。

- ① 次の団体の事務を司る。
 - ・東海村体育協会
 - ・東海村スポーツ少年団
 - ・東海村新春マラソン大会実行委員会
 - ・東海村文化協会
 - ・東海村文化祭実行委員会
- ② 次の団体の運営を支援する。
 - ・東海村総合型地域スポーツクラブ「スマイル東海」

3. 文化に関する鑑賞会、展覧会、発表会等の事業を行う。

4. 東海村からの受託事業であるレンタサイクル貸出業務及び東海駅駐輪場警備業務を行う。

5. 前各号に関する情報の提供及び出版物の刊行。

6. 文化及びスポーツに関する公共施設の管理。

- ① 管理施設
 - ・東海文化センター
 - ・東海駅コミュニティ施設
 - ・東海村スポーツ施設
 - 東海村総合体育館，東海スイミングプラザ，東海村テニスコート，
 - 久慈川河川敷運動場，東海南中学校夜間照明グラウンド
- ② 管理のための業務
 - ・施設使用の許可及び使用料の徴収
 - ・施設の維持管理及び環境整備
 - ・その他施設の管理上必要な事務

7. その他目的を達成するために必要な事業。

3. 平成23年度文化自主事業実施状況

実施年月日	事業名	内容(出演者・演目等)	入場料	入場者数
平成23年 11月19日	クラシックコンサート 「横山幸雄ピアノ・リサイタル」 ～プログラム オールショパン～	ピアノソロリサイタル 出演:横山幸雄	2,000円	561
12月10日	親子向け事業 「はいだしょうこファミリーコンサート スペシャルゲスト 佐藤弘道」	乳幼児およびその保護者を対象としたファミリーコンサート 出演:はいだしょうこ、佐藤弘道	2,500円	(2回公演) 1,481
12月3日 ～ 平成24年 2月18日	東海村吹奏楽楽器講座 第13期	パート別レッスン(全6回開催)	1レッスン 一般6,000円 小中高生3,000円	126
		吹奏楽レッスン(吹奏楽編成の合奏レッスン、全6回開催)	両レッスン 一般9,000円 小中高生4,500円	43
1月29日 2月19日	映画上映会 「東海ワンコイン劇場2011」	入場料500円の映画上映会(2日間で2作品を上映) 上映作品:「はやぶさ/HAYABUSA」(1/29) 「SPACE BATTLESHIP ヤマト」(2/19)	500円	(2日間) 853
2月4日 2月5日	映画上映会 「東海ワンコイン劇場特別編 平成23年度優秀映画鑑賞推進事業」	日本の名作映画上映会(2日間で4作品を上映) 上映作品:「浪華悲歌」「稲妻」(2/4) 「晩春」「華岡青洲の妻」(2/5)	500円	(2日間) 295
2月8日	げんでん ふれあいコンサート2011	げんでん ふれあい茨城財団との共催事業 「宗次郎オカリナコンサート スペシャルゲスト チェンミン」 出演:宗次郎、チェンミン、ほか演奏者5名	2,000円	750
2月25日	かぞくで楽しむ芸術鑑賞会 オペラ「ピノッキオ」	親子・家族を主対象としたオペラ公演 出演:オペラシアターこんにゃく座	一般1,000円 中学生以下500円	183
通年	グランドピアノ開放事業 ※震災の影響により施設の使用ができず休止	東海文化センターステージ設置のグランドピアノを個人練習に開放		
通年	平成23年度 県北地区文化会館交流事業	県北地区の文化会館6館による合同研修会の開催 および合同広報チラシの作成(年3回) ※コミュニティセンター城里が退館の為、6館での活動	—	(6館各職員 が参加)
通年	「東海村吹奏楽団」「劇団とみかる」 支援事業	当財団で設立した文化活動団体「東海村吹奏楽団」「劇団とみかる」の自主活動に対する人的・物的支援	—	—
平成23年 12月7日	平成23年度 東海村中学校芸術鑑賞教室	演劇公演 「ラリー ぼくが言わずにいたこと」 出演:東京演劇アンサンブル 村内の中学生を対象に実施	無料	1,074
10月5日	平成23年度 東海村小学校芸術鑑賞教室	「楽しい歌とオペレッタのコンサート」 出演:ステファノ・オペラ劇場 村内の小学4年生～6年生を対象に実施	無料	1,319
11月10日	平成23年度 東海村幼稚園・保育所芸術鑑賞教室	マスク舞台劇 「泣いた赤おに(森のコンサート)」 出演:青い鳥ティアティカル・カンパニー 村内の幼稚園・保育所・保育園4歳～5歳児を対象に実施	無料	815
			合計	7,500

4. 平成24年度文化自主事業実施計画

実施時期	事業名	内容（出演者・演目等）
平成24年 7月8日	女優たちによる朗読「夏の雲は忘れない」	出演：夏の会（女優6名）、地元出演5名 戦争の悲劇を語り継ぐ朗読劇
12月2日	「東海村落語名人会（仮称）」	出演：三遊亭圓楽、林家きく姫 （演目：調整中）
平成25年 2月予定	映画上映会 「東海ワンコイン劇場特別編 平成24年度優秀映画鑑賞推進事業」	入場料500円の映画上映会 日本の名作映画上映会（2日間で4作品を上映）
2月予定	映画上映会 「東海ワンコイン劇場2012」	入場料500円の映画上映会 （2日間2作品を上映予定）
未定	げんでん ふれあい文化講演会2012	げんでん ふれあい茨城財団との共催による講演会 （内容：調整中）
通年	グランドピアノ開放事業	東海文化センターステージ設置のグランドピアノを 個人練習に開放
通年	平成24年度 県北地区文化会館交流事業	県北地区の文化会館6館による合同事業・研修会の 開催、6館合同広報チラシの発行等
通年	「東海村吹奏楽団」「劇団とみかる」 支援事業	「東海村吹奏楽団」「劇団とみかる」の自主活動に 対する物的・人的支援

5. 平成23年度スポーツ自主事業実施状況

実施年月日	回数	事業名	会場	参加費	募集人数	参加人数
平成23年7月7日 ～8月11日	10回	チャレンジスクール 弓道の部（連盟共催）	総合体育館	2,000円	30	25
7月10日 ～9月25日	8回	チャレンジスクール 早朝テニスの部（連盟共催）	東海村テニス コート	3,000円	60	37
7月23日	1回	スポーツ活性化・各競技団体 育成事業part2 「東海村バスケットボールクリ ニック」	総合体育館	無料 ※青少年育成 の観点から	80	78
8月22日 ～10月7日	11回	チャレンジスクール ゴルフの部	総合体育館 東海ゴルフ練 習場	12,000円	30	25
10月4日 ～10月25日	6回	チャレンジスクール 卓球の部part1（連盟共催）	総合体育館	2,000円	25	27
11月12日	1回	スポーツ活性化・各競技団体 育成事業part3 「東海村柔道教室」	総合体育館	無料 ※青少年育成 の観点から	90	70
平成24年2月7日 ～2月28日	6回	チャレンジスクール 卓球の部part2（連盟共催）	総合体育館	2,000円	25	18
合計						280

6. 平成24年度スポーツ自主事業実施計画

実施予定期間	回数	事業名	内容
平成24年6月～7月	10回	チャレンジスクール 弓道の部	東海村弓道連盟員の講師・指導による弓道 教室の開催
6月	6回	チャレンジスクール 卓球の部part1	東海村卓球連盟員の講師・指導による卓球 教室の開催（平日夜間の開催）
7月～9月	8回	チャレンジスクール 早朝テニスの部	東海村テニス連盟員の講師・指導によるテニ ス教室の開催
8月～10月	11回	チャレンジスクール ゴルフの部	ゴルフ教室の開催（生涯スポーツの観点から 「G-cube理論」に基づくゴルフ指導を実施）
10月	6回	チャレンジスクール 卓球の部part2	東海村卓球連盟員の講師・指導による卓球 教室の開催（平日午前中の開催）
平成24年秋予定	4回	チャレンジスクール ジュニアホッケーの部	中丸ホッケースポーツ少年団指導者の講師・ 指導による小学生対象のホッケー教室開催
通年	—	東海村ニュースポーツ普及事業 「ニュースポーツをやってみよう！」	村内学童クラブに対するアウトリーチ事業ほ か、ニュースポーツ競技の普及を目的とした レクレーション・体験教室の開催 用具の貸出や利用促進のためのPR活動等

7. 平成23年度ギャラリー事業実施状況

実施年月日	日数	事業名	作家名・内容等	入場料	入場者数
平成23年 5/29～6/11	14	芸大・茨大・筑波大 卒業修了制作選抜展	茨城県内美術系大学3校の卒業・修了制作 展から10名の作品を展示	無料	814
7/31～8/20	21	とうかいきつずミュージアム2011	村内小学校児童が一学期の図画工作で製 作した絵画・半立体の作品の展示	無料	5,477
10/2～10/15	14	紙のかたち	異なる紙(ケント紙・和紙)を素材とする二人 の造形作家、小林範夫さんと畠中陽一さん による作品展	無料	341
11/13～11/26	14	東海村の作家6人展	村内作家を紹介するシリーズ。東海村の文 化活動に尽力する村内在住作家(書・絵画・ 写真・工芸)6名による合同展	無料	1,261
平成24年 2/19～3/3	14	かけはし展Ⅱ	詩や俳句・作文を、絵画・写真・書・工芸等 の作品で表現し、作品を通じて交流を図る、一 般公募の住民による展覧会	無料	685
3/4～3/10	7	東海村 東日本大震災	東海村内の震災の影響について調査した、 東海村自然調査団の緊急報告を、写真と図 表を中心に紹介	無料	1,302
通年	25	彫刻講座	蠟型ブロンズ彫刻の基礎・鋳造技法を習得	50,000円	(受講人数) 12
通年	18	絵画講座	1年間をかけて、静物画・風景画・人物画等 さまざまなモチーフに取り組む初心者向け講 座。	19,000円	(受講人数) 21
7/24、8/21	2	ワークショップ 「おもしろいかたちを金属にしよう」	粘土で作ったかたちを石膏で型取り、錫を流 し込む金属鋳造による造形体験教室。	1,900円	(受講人数) 20
9/3、9/4 9/8、9/10	4	彫刻体験講座	ブロンズのレリーフ制作を通して、短時間で 気軽に彫刻技法を体験できる金属造形講 座。	5,000円	(受講人数) 8
9/16～9/18	3	人物画集中講座	技術向上と大作制作を目指す短期講座。 2人の人物による「組みポーズ」をテーマに制 作。	4,300円	(受講人数) 22
				計	9,963

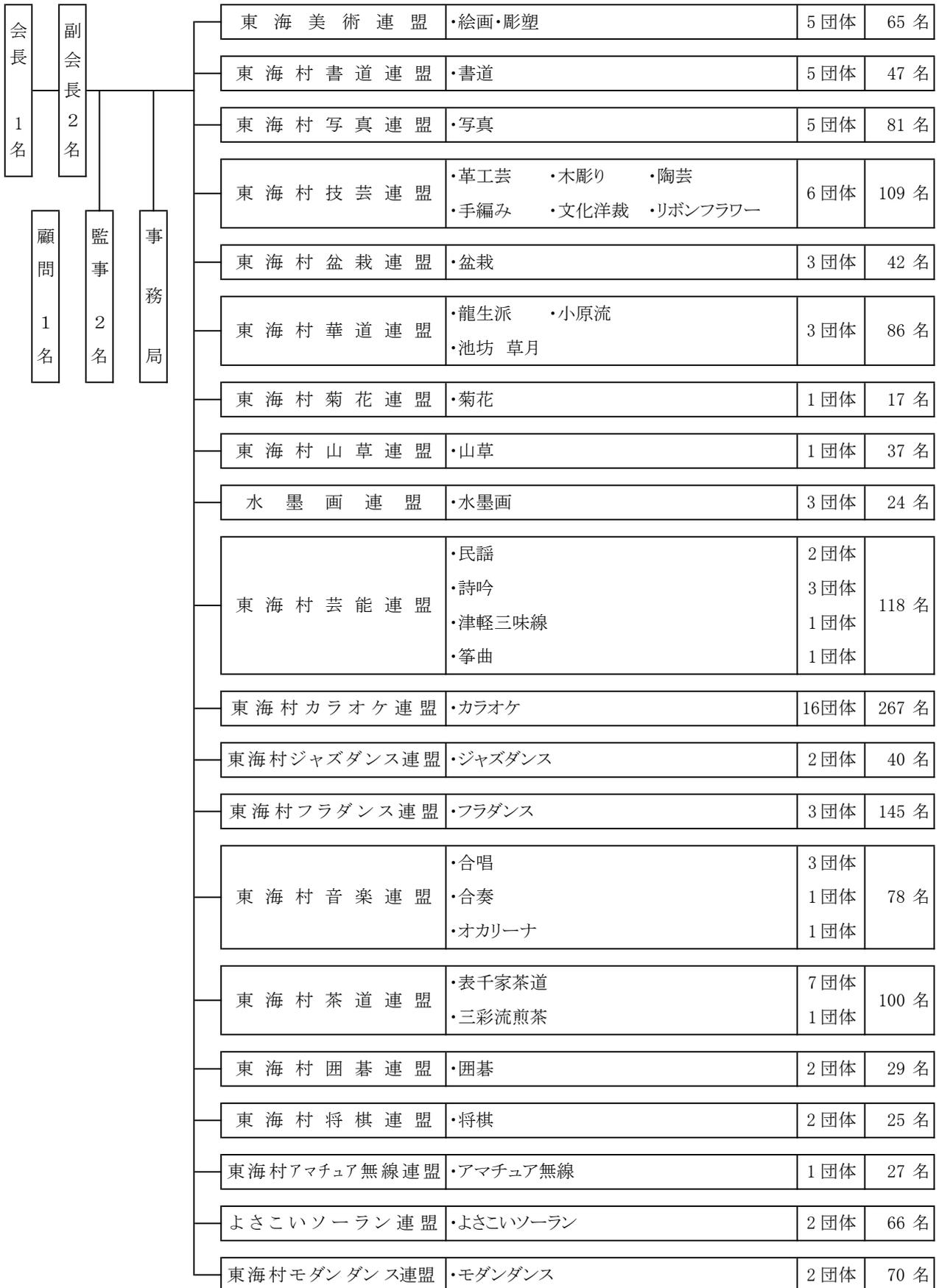
8. 平成24年度ギャラリー事業実施状況

実施年月日	日数	事業名	作家名・内容等	展覧会種別
平成24年 4/22～5/5	14	芸大・茨大・筑波大 修了制作選抜展	茨城県内美術系大学3校の卒業・修了制作 展から10名の作品を展示	企画展
7/29～8/18	21	とうかいきつずミュージアム2012	村内小学校児童の絵画・半立体造形の展示	企画展
8/26～9/8	14	中村義孝展	筑波大学で後進の指導にもあたる県内在住 彫刻家の個展。ブロンズや大理石を素材に 空間を構成する作品を紹介する。	企画展
通年	25	彫刻講座	蠟型ブロンズ彫刻の基礎・鋳造技法を習得	
通年	20	絵画教室	初心者向け絵画教室(水彩・油彩コース)	
8月	2	子ども向け夏休みワークショップ 「おもしろいかたちを金属にしよう」	短時間で気軽に体験できる金属造形講座	
8～9月	3	人物画集中講座	技術向上や大作制作を目指す短期集中講 座	
10月	3	彫刻体験講座	短時間で気軽に体験できる金属造形講座	

東海村文化協会

1. 組織図

(平成 24 年 4 月 20 日現在)



加盟連盟 20連盟 連盟加盟団体数 82団体 団体加盟人数 1,473名

2. 平成 24 年度事業計画

「東海村第 5 次総合計画」の基本理念である「村民の叡智が生きるまちづくり」の基本目標を達成するための一つである「生涯にわたって学習することができ、その成果を生かせるまち」の節には、「誰もが生き生きとした生活を送れるよう、芸術文化活動やスポーツ活動などを支援します」と記載されており、当協会は、文化活動を振興し、地域文化の向上・発展に寄与することを目的とし推進する。

①芸術祭開催事業

- ・東海村芸術祭（展示・催事部門） 平成 24 年 5 月 13 日（日）～6 月 9 日（土）
（芸能部門） 平成 24 年 6 月 10 日（日）

②研修会等の開催事業（年度内に 1 回）

- ・講師招聘による講座，又はバスによる地域交流研修会

③展示会・発表会等の開催事業

- ・東海村文化祭
小中学校音楽発表会 平成 24 年 11 月 1 日（木）（予定）
展示・催事・芸能各部門とも 平成 24 年 11 月 2 日（金）～11 月 4 日（日）（予定）
- ・東海さくらまつりへの参加・協力（ステージイベント中止）
- ・東海まつりへの参加・協力 平成 24 年 8 月 11 日（土）
- ・その他，各連盟主催展示会・発表会等

④体験教室等の開催事業

文化協会の会員の芸及び技術を村民に対し広く継承し，芸術への関心を高めるために公募して行う体験教室等を開催する。

- ・夏休み子ども作品教室（書道） 平成 24 年 7 月 27 日（金）
（絵画） 平成 24 年 8 月 3 日（金）
- ・子ども芸術祭（仮称） 平成 25 年 3 月 2 日（土）・3 日（日）
（展示部門体験・芸能部門体験発表）
※展示部門の展示発表は，平成 25 年 5 月予定

⑤広報事業

- ・文化協会だよりの発行（年度内に 1 回）
- ・文化協会HPを活用したPR

⑥加盟連盟間接補助事業

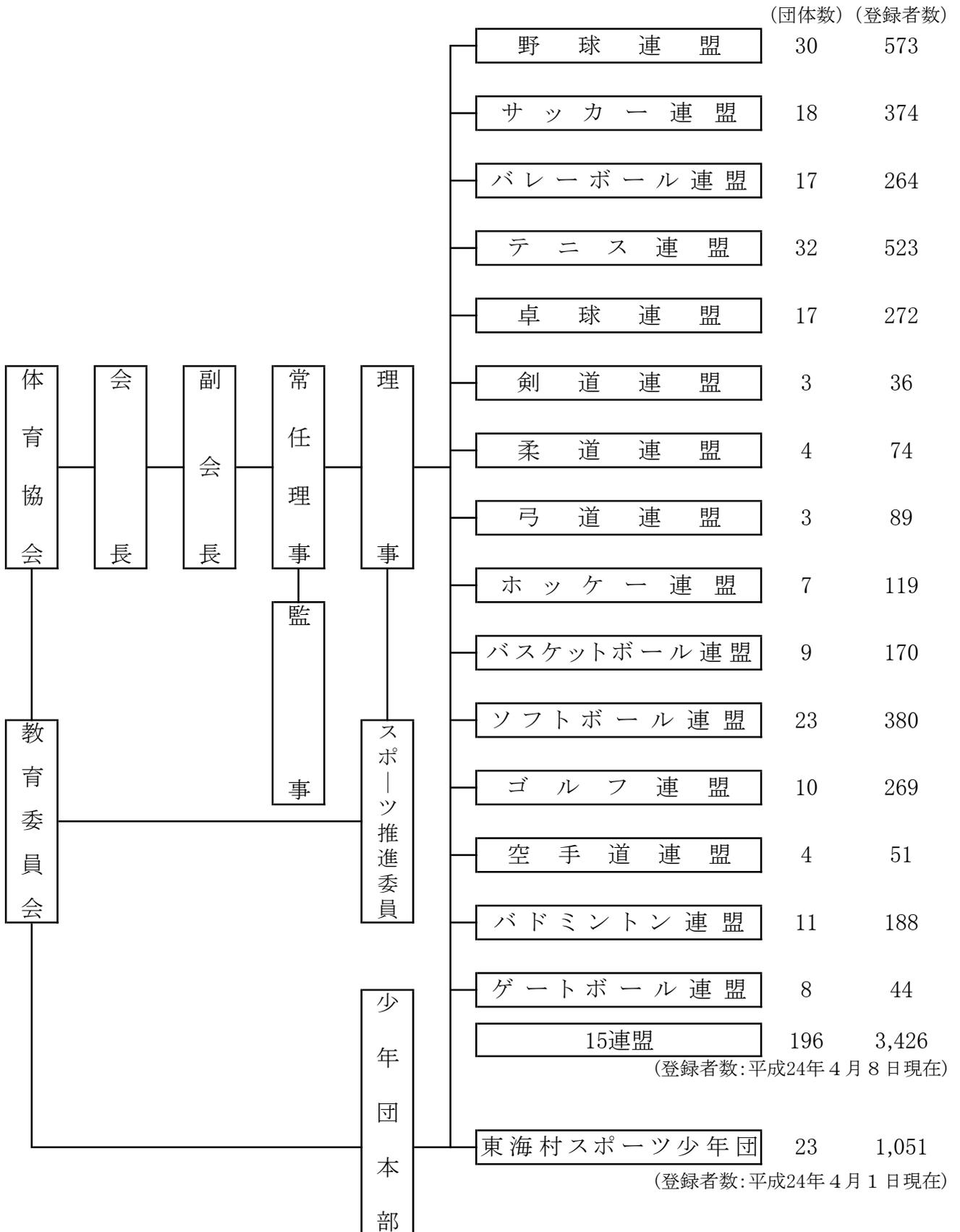
- ・文化協会加盟 20 連盟への間接補助

⑦文化協会運営事業

- ・文化協会の運営

東海村体育協会

1. 組織図



2. 平成 24 年度事業計画

期 日	事 業 名	会 場	内 容
4 月 11 日	常任理事会(第 1 回)	総合体育館	平成 23 年度事業報告及び決算報告について 平成 24 年度各連盟補助金(案)について 平成 24 年度事業計画及び予算(案)について
4 月 25 日	総会	総合体育館	平成 23 年度事業報告及び決算報告について 平成 24 年度各連盟補助金(案)について 平成 24 年度事業計画及び予算(案)について
8 月中旬	常任理事会(第 2 回)	総合体育館	第 42 回東海村総合体育大会について
9 月上旬	功労者選考委員会	総合体育館	功労者選考
9 月(予定)	講演会	未定	救急蘇生の意義・知識や実施方法について 生涯スポーツについて(予定)
10 月 8 日	第 42 回 東海村総合体育大会	総合体育館他 10会場	15 連盟 16 種目各競技大会 体育協会功労者の表彰
12 月 9 日	第 29 回県民駅伝競走大会	笠松運動公園	市町村対抗の部に出場予定(7 区間 21Km)
H24 年 4 月～(通年)	地域スポーツ指導者学校派遣事業	村内中学校他	指導を希望する部活動への連盟登録者派遣
未定(随時)	作業部会・事務局打ち合わせ	総合体育館	各連盟登録及び事業報告に関する打ち合わせ

※ 平成 24 年度の「東海村新春マラソン大会」については開催休止。

スポーツ少年団

活動の基本

スポーツ少年団とは、子どもたちが自由時間を活用し、地域社会のなかで、グループ活動として幅広いスポーツ活動に取り組んでいる集団です。

スポーツ少年団の活動は主となるスポーツ活動だけではなく、学習活動、野外活動、レクリエーション活動、社会活動、文化活動など、幅広い分野に展開しています。

このような活動のもつ本質的な意義が、子どもたちを立派な人間に形成していく源泉となります。したがってスポーツ少年団活動の目的は、青少年期における人間の人格形成を主眼とした、教育的配慮に基づいたものであるべきで、別の見方からいえば、発育発達期にある子どもたちの健康なからだところを育てることにあります。

スポーツ少年団の意義

1. 自主的で、自発的な活動であること。
2. 真剣さ・厳しさは団員自身が目指すものであって、指導者や親・マスコミ等から強制されるものではないこと。
3. 個人的にも、集団的にも、歓びのあふれたものであること。
4. 生涯にわたり続けていくであろう、スポーツの基礎をつくる活動であること。
5. 身体的・精神的に無理がなく、意欲をもって参加できる活動であること。
6. 活動地域における社会奉仕的活動が含まれていること。

東海村スポーツ少年団本部長 照 沼 豪
副本部長 花 見 美知子
副本部長 吉 田 公 一

(平成24年4月17日現在)

種目	ホッケー	ソフトボール	空 手	剣 道	柔 道
団数	1	1	3	1	1

種目	弓 道	サッカー	バスケット ボール	バドミントン	卓 球
団数	1	5	3	1	1

種目	テニス	軟式野球	合気道
団数	1	3	1

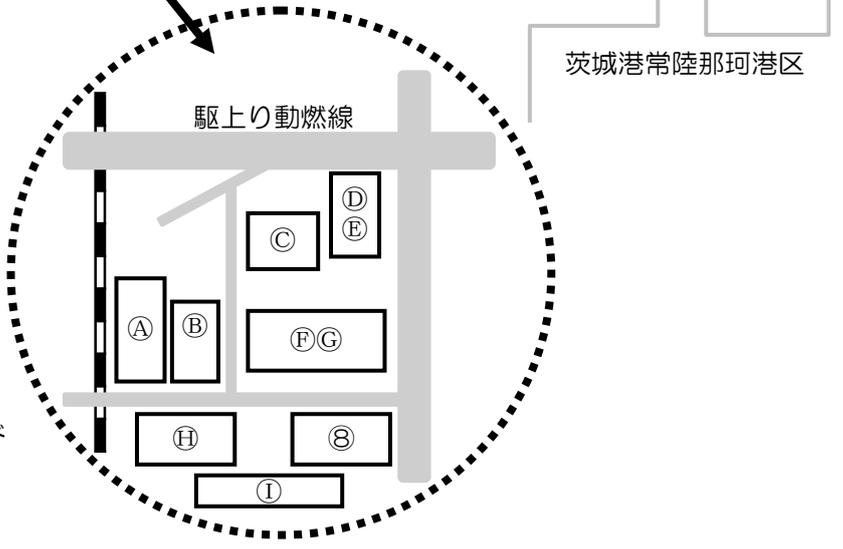
社会教育施設一覧（財産台帳等による）

土地・建物

No.	施設名	所在地	敷地 (㎡)	建物			備考
				構造等	階層	延床面積 (㎡)	
1	東海村中央公民館	東海村大字船場 7 6 8 番地	3, 449. 79	鉄骨鉄筋コンクリート造	2 階	1, 748. 63	S51. 5 ほか倉庫あり
2	東海文化センター	東海村大字船場 7 6 8 番地 1	11, 429. 13	鉄筋コンクリート造	3 階	2, 765. 66	S52. 4 ほか倉庫あり
3	東海駅コミュニティ施設	東海村舟石川駅西一丁目 1 番 1 号	6, 370. 20	鉄骨造	3 階	2, 412. 56	H 6. 1 敷地の一部を J R より借地
4	東海村総合体育館	東海村大字船場 7 6 8 番地	8, 098. 22	鉄骨鉄筋コンクリート造	2 階	3, 794. 00	S57. 12 ほか弓道場, 倉庫あり
5	東海スイミングクラブザ	東海村大字船場 7 6 8 番地	5, 295. 07	鉄筋コンクリート造 ※	1 階	351. 00	S59. 7 ※管理事務所
6	東海村テニスコート	東海村大字船場 7 4 1 番地	21, 801. 99	鉄筋コンクリート造 ※	1 階	92. 00	S63. 4 ※管理事務所
7	東海南中学校夜間照明グラウンド	東海村大字船場 7 6 8 番地	※	照明施設 4 基	—	—	H 3. 4 ※学校用地に設置
8	久慈川河川敷運動場	東海村大字石神外宿地先 東海村大字石神内宿地先	※	ソフトボール場 8 面 サッカー場 4 面	—	—	S55. 4 S60. 4 ※河川敷を占用

教育関係施設の位置図

- ① 白方小学校
- ② 沼丸小学校
- ③ 中神小学校
- ④ 石舟村東海村石舟村宿須総合支援センター「なごみ」
- ⑤ 石川小学校
- ⑥ 松海南海南中学校
- ⑦ 松海南海南中学校
- ⑧ 松海南海南中学校
- ⑨ 松海南海南中学校
- ⑩ 石川幼稚園
- ⑪ 石川幼稚園
- ⑫ 石川幼稚園
- ⑬ 石川幼稚園
- ⑭ 石川幼稚園



- Ⓐ 東海村総合体育館
- Ⓑ 東海スイミングプラザ
- Ⓒ 東海文化センター
- Ⓓ 中央公民館
- Ⓔ 青少年センター
- Ⓕ 教育支援センター
- Ⓖ 村立図書館
- Ⓗ 東海南中学校夜間照明グラウンド
- Ⓘ 東海村テニスコート
- Ⓙ 久慈川河川敷運動場
- Ⓚ 東海ステーションギャラリー

発行 東海村教育委員会
〒 319-1192
茨城県那珂郡東海村東海三丁目7番1号
TEL 029-282-1711 (代)
E-Mail : kyouiku@vill.tokai.ibaraki.jp
発行日 平成24年6月

